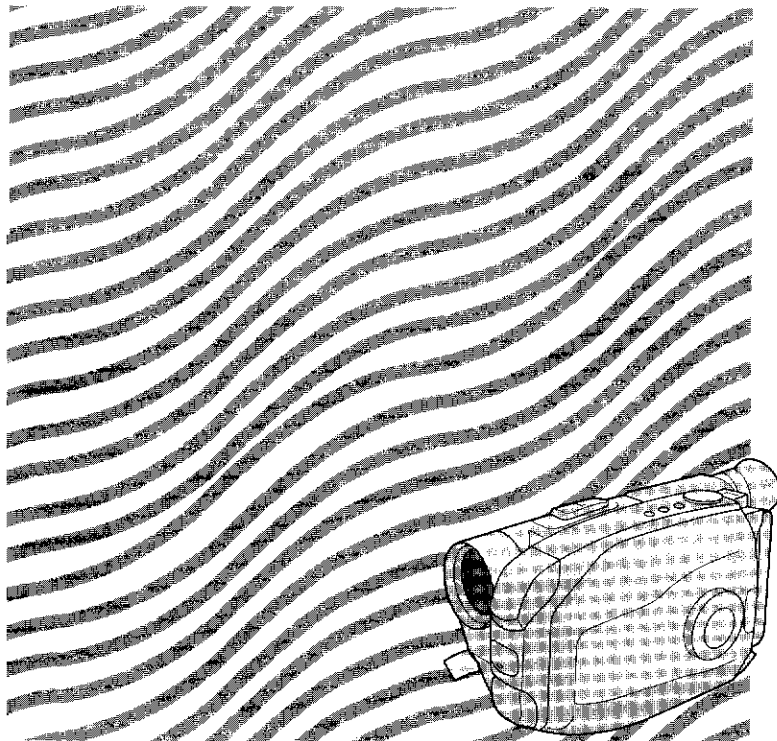


VHSビデオムービー

GR-AX255



はじめに



準備



撮影(基本)



撮影(応用)



再生

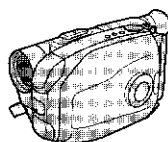


その他

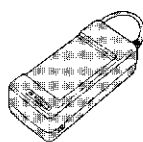
お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかを、お確かめください。

必要なもの



本体



ACパワーアダプター
AA-V15

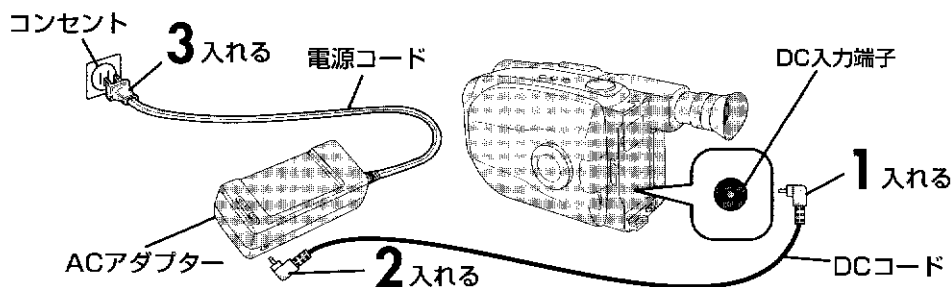


DCコード

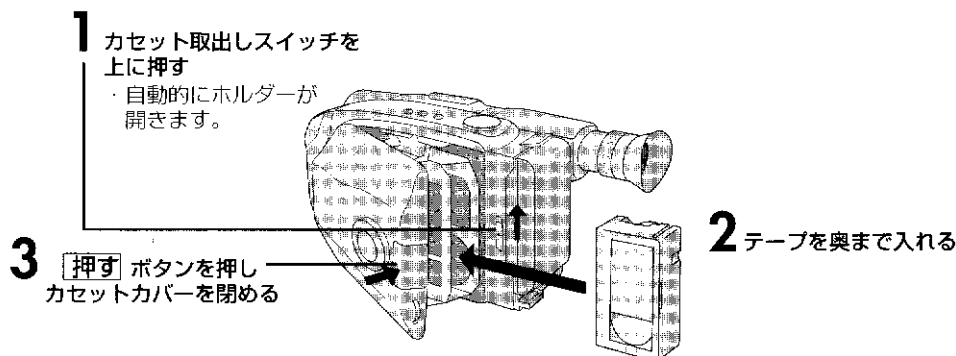


VHS (Hi8) マーク付き
コンパクトビデオテープ (別売)

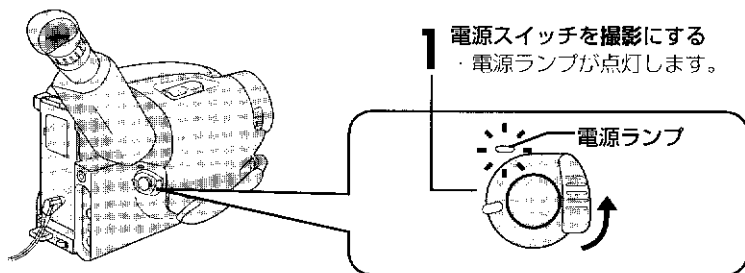
① 電源をつなぐ (📖 24ページ)



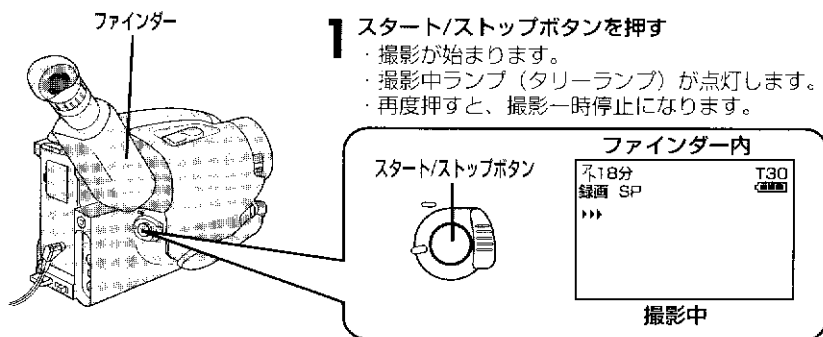
② カセットを入れる (📖 27ページ)



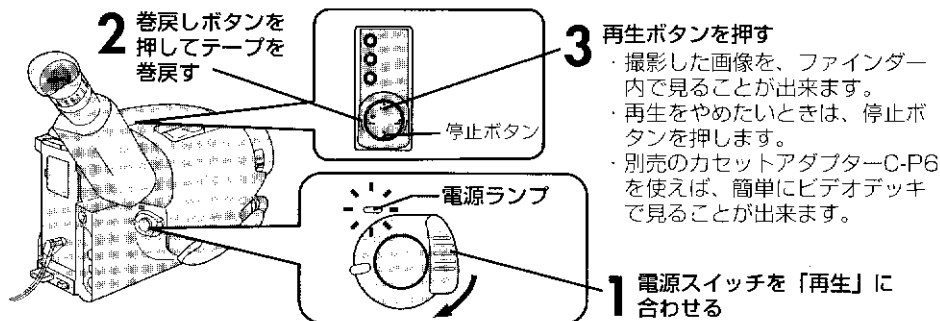
③ 電源を入れる (👉 26ページ)



④ 撮る (👉 32ページ)



⑤ 再生する (👉 60ページ)



ご使用の前に

大切な録画の前に

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ビデオムービーおよびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機はVHS方式のビデオムービーです。VHS(B・S・VHS)マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。

リサイクルについて



Ni-Cd

この製品に使用する電源にはニカド電池があります。

ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換や廃棄の際はリサイクルにご協力ください。

●電池の電極間ショート(短絡)防止のため、リサイクルに出す時には絶縁テープで電極をふさいでください。

著作権について

あなたがビデオムービーで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

本文中の記号の見方



操作上の注意などが書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



知っているとちょっと便利な内容が書かれています。



キーポイントやテクニックをまとめて説明しています。



参照ページや参照項目を示しています。

付属品について

本機の付属品をお確かめください。



ACパワーアダプター
AA-V15



DCコード
長さ：約2m



バッテリー
BN-V12



リチウム電池
CR2025
(本体に取り付けられています。)



ショルダーストラップ



映像／音声コード
長さ：約1.5m

もくじ

安全上のご注意	6
使用上のご注意	16
撮影のポイント	20
準備する	22
●バッテリーを充電する	22
●バッテリーを取り付ける	23
●車内で電源を使うとき	24
●グリップバンドを調節する	25
●ファインダーを調節する	25
●録画モードを選ぶ	26
●テープの長さを選ぶ	26
●テープを入れる	27
●各部のなまえ	28
●ファインダー内の表示	30
撮影する（基本編）	31
●撮影する	32
●簡単オートを使う	34
●ズームを使う	34
●ズームスピードの設定	35
●クイックレビュー	36
●リテイク	36
●5秒撮り	37
●日時を入れて撮る	38
撮影する（応用編）	40
●映像に変化をつける（演出／効果）	40
●場面のつなぎに変化をつける（フェーダー）	42
●シネマ効果をつける	43
●感度をあげる（感度アップ）	44
●タイトルを入れて撮る	45
●自分だけのタイトルを作る	46
●ヒントを合わせる	48
●明るさを調節する	49
●白バランスを調節する	50
●白バランスを記憶する	51
●メニューを使って機能設定をする	52
●セルフタイマー撮影をする	54
●アニメ撮影をする	56
●タイムラプス撮影をする	58
再生する	60
●再生する	60
●トラッキングの調節	61
●静止画再生	61
●高速再生	61
●カウンターメモリー	61
テレビやビデオデッキとつなぐ	62
●テレビにつないで見る	62
●ビデオデッキにつないで見る	63
●ダビングする	63
その他	64
●海外でお使いになるには	64
●ボタン電池（時計用）を入れかえる	65
●日時を合わせる	66
●故障かな？と思ったら	68
●ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE	71
●主な仕様	72
●保証とアフターサービス	73
●サービス窓口案内	74
●メモ	76
●索引	78

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

- 注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



手がはさまれる

- してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



接触禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

- 必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



一般的指示

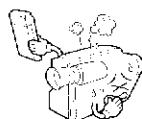


プラグをコンセントから抜く

警告

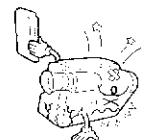
■ 煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



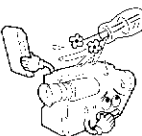
■ 落したり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



■ 内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



■ 電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

- ・販売店に修理を依頼してください。
- ・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。



■ 持ち運ぶときには、ファインダーを持たない

- ・ファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。



■ 不安定な場所に置かない

- ・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
- ・落ちたり、倒れたりして、ムービーの故障やけがの原因となります。



■ 指定の電源電圧以外で使用しない

- ・火災や感電の原因となります。



警告

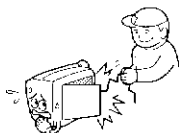
■ 電源コードを傷つけない

- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ 次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける



■ 内部に物を入れない

- ・ カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない ください。
- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ 特にお子様にご注意ください。



■ 内部の部品に触らない

- ・ カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
- ・ 感電や故障の原因となります。



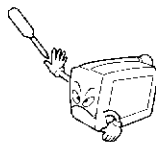
■ 機器を接続するときは、電源を切る

- ・ 電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。



■ 分解や改造はしない

- ・ 火災や感電の原因となります。
- ・ お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。
絶対おやめください。
- ・ 内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



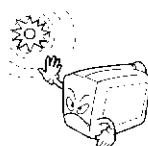
■ 自動車などの運転中に使用しない

- ・ 運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
- ・ 交通事故の原因になります。



■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

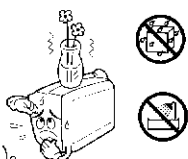
- ・ レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。



警告

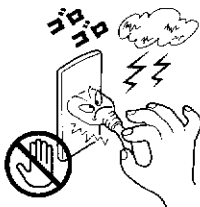
■ぬらさない

- ・火災や感電の原因となります。
- ・風呂場では使用しないでください。
- ・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
- ・水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。



■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

- ・感電の原因となります。



■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

- ・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・最後までしっかりと接続してください。



■電源プラグにほこりや金属物を付着させない

- ・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。



■上に乗らない

- ・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。



⚠ 注意

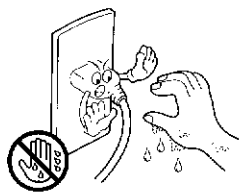
■ 電源コードはコードの部分を持って抜かない

- ・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- ・プラグの部分を持って抜いてください。



■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ・感電の原因となることがあります。



■ 次のような場所には置かない

- ・砂浜などの砂ぼこりのある所
- ・湿気やほこりの多い所
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
- ・熱器具の近くなど
- ・真夏の車内など高温になる所
- ・直射日光の強い所
- ・火災や感電の原因となることがあります。



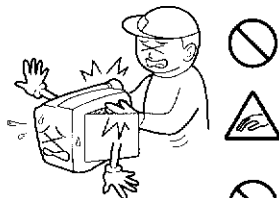
■ 上に重い物を置かない

- ・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。



■ カセットの出し入れ口に手を入れない

- ・手をはさまれてけがをする原因となります。
- ・特にお子様にご注意ください。



■ 本体に衝撃を与えない

- ・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。



注意

■指定以外のアクセサリーを使わない

- ・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
- ・本機に指定されたものが確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。



■照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

- ・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。



■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない

- ・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。



■コード類は正しく配置する

- ・ACアダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
- ・十分注意して接続、配置してください。



■長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。



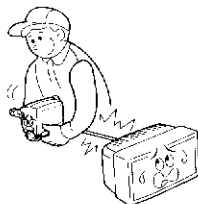
■別売の三脚を不安定な状態で使用しない

- ・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
- ・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。



■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

- ・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- ・カセットも取り出しておいてください。



⚠ 注意

■ バッテリーやショルダーストラップは正しく取り付ける

- ・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。



■ お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

- ・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。



■ 5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

- ・内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
- ・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
- ・費用については、販売店にご相談ください。



■ 強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

- ・故障の原因となることがあります。
- ・テレビの上や近くでは使用しないでください。
- ・RFユニットやACアダプターを使用しているときは、なるべくムービーから遠ざけてご使用ください。



■ 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

- ・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。



ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

⚠ 危険

は
じ
め
に

■ ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

- ・火災や感電の原因となります。



■ ACアダプターは指定以外のムービーやバッテリーには使わない

- ・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
- ・指定されたものが確かめ、ムービーやアクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。



■ ACアダプターを分解や改造はしない

- ・火災や感電の原因となります。
- ・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
- ・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



■ バッテリーを充電するときは、指定のACアダプターを使う

- ・性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。



■ バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

- ・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

⚠ 危険

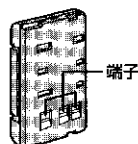
■ 高温の場所 (60℃以上) に置かない

- ・ 発熱、破裂、発火の原因となります。



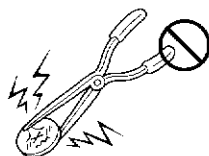
■ バッテリーの端子部 (⊕ と ⊖) に金属物 (ネックレスやヘアピンなど) を接触させない

- ・ ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
- ・ 持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



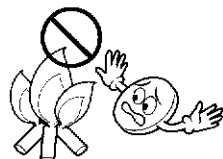
■ ボタン電池の端子部 (⊕ と ⊖) に金属物 (ネックレスやヘアピンなど) を接触させない

- ・ 液漏れ、発熱の原因となります。
- ・ 持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



■ ボタン電池は絶対に分解、加工 (はんだ付けなど)、充電、加熱、火中投入などをしない

- ・ 液漏れ、破裂などの原因となります。



ACアダプター、バッテリーやボタン電池について

警告

■ 指定以外のボタン電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーやボタン電池を使わない

- ・ 液漏れを起こしたボタン電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
- ・ 電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
- ・ 電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ・ 電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■ ボタン電池は幼児の手の届かない所に置く

- ・ 万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。



注意

■ ボタン電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意する

- ・ 機器の指示通りにボタン電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■ 通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない

- ・ 温度が上がリ、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となる場合があります。

使用上のご注意

ご使用の前にお読みください。

ムービーについて

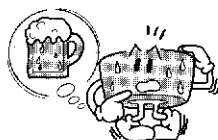
使用上の注意

電源（バッテリーやACパワーアダプターなど）をはずすときは、必ずムービーの電源スイッチが“電源切”になっていることを確かめてください。

●ムービーの動作中に電源をはずすと、テープを傷めたり、誤動作の原因となります。

つゆつきについて

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。この状態を“つゆつき”といいます。



つゆつき表示が出たら
ムービーは停止します。

〈湿気は大敵〉つゆつきが発生するとムービーの心臓部であるヘッドドラムの周りに徐々に水滴が付き、テープが貼り付き傷ついてしまいます。



つゆつきはこんなときにおこります

- ムービーを寒いところから急に暖かいところへ移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。

つゆつき後再び使い始めるには

電源を切って数時間待ちます。その後電源を入れて数分待ち、つゆつき表示が消えてからご使用ください。消えない場合は点検が必要です。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

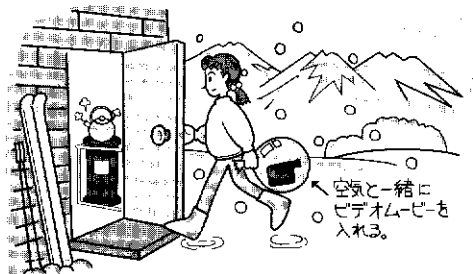
つゆつきのトラブルを防ぐには

つゆつきのおこるような環境

- ・寒い所から暖かい所
 - ・冷房のきいた所から温度・湿度の高い所
- での使用は、移動時にムービーとテープをしばらくおいて、その環境になじませてからお使いください。

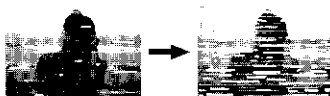
●例えば、スキー場で撮影後、暖房のきいた部屋に入るときはビニール袋等にムービーを入れて（一緒に空気も入れる）移動し、しばらくその状態で環境になじませるとつゆつき防止に効果的です。

- ・つゆつきはレンズにもおこります。きれいに撮影できませんのでつゆつきがなくなってから撮影してください。
- ・通常、つゆつきは徐々に進行し、10～15分間は現象が現れないことがあります。
- ・寒冷地域では露が凍結し、霜になることがあり、さらに時間がかかります。



ヘッドの汚れについて

ヘッドが汚れるとテープ再生時に、右のような症状が出ます。
クリーニングカセット TCC-2(別売) を使ってヘッドを清掃してください。



ヘッドの汚れる原因は

高温・多湿

- しばらくその環境になじませた後で使ってください。



テープの傷

- 傷のあるテープは磁性粉がはがれヘッド汚れの原因となります。

空気中のほこり・ちり

長時間の使用

- クリーニングカセットでクリーニングしてください。

ヘッドは摩耗します。
クリーニングカセットで清掃しても鮮明な映像が映らない場合はヘッドまたは交換が必要です。お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

お手入れについて

ボディの汚れは

お手入れのときは、電源をはずしておこなってください。

- 乾いた柔らかい布などで拭きとってください。
- ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。



レンズはいつもきれいに

レンズブローでほこりを落とし、レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。汚れたままでは、カビなどが発生する場合があります。

定期点検のすすめ

ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使用になる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1000時間をめどに点検されることをおすすめします。

使用上のご注意（つづき）

バッテリーについて

上手な充電と使い方で長持ちさせましょう。

上手な充電と使い方

使用前に充電を！

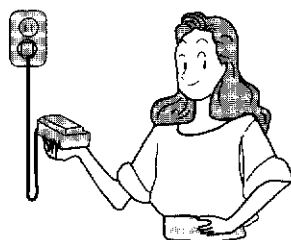
- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。
したがって充電せずに出荷しています。使用する直前か前日に充電してください。
- 充電するときは、周囲の温度が10～35℃の場所でおこなってください。

バッテリーは完全に使いきってから充電を！

完全に使いきる → 充電 → 完全に使いきる → 充電



- 使いきらないで充電するとバッテリーの容量低下の原因になります。
付属のACパワーアダプターにはリフレッシュ機能がついています。5回の充電につき1回を目安にリフレッシュしてください。（P.23ページ）



長時間使用しないときは機器からはずす

- 電源を切っても微小電流が流れています。

使用時間が短くなってきたら

バッテリーには寿命があります！

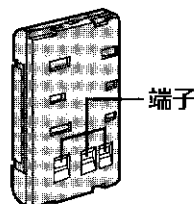
- 長時間（約1年）保存されたバッテリーは、はじめの使用時間が若干短めになります。
充電と放電（使いきる）を数回繰り返すとバッテリーの容量が回復します。
完全に使いきる → 充電 を繰り返しても使用時間が短いときは、寿命がきていますので新しいバッテリーをお求めください。

次の場合にも撮影時間が短くなります。

- 寒冷地など温度の低いところでの撮影
- ズームを使った撮影

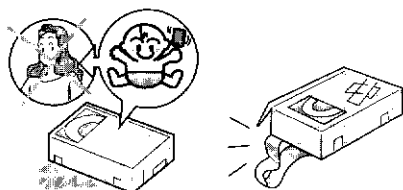
ご注意ください

バッテリーを持ち運ぶときはビニール袋などで包んで、端子にキーホルダーやネックレスなどの金属類が触れぬようにしてください。事故の原因になります。



テープについて

- 撮影済みテープに新しく撮影すると、前の映像と音は自動的に消えます。
- テープは裏返しでは使えません。
- テープを走行させないでテープの出し入れを繰り返さないでください。

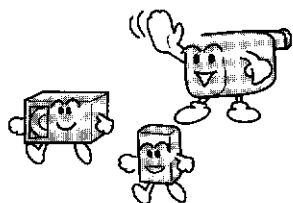


正しい保存のしかた

ムービーは

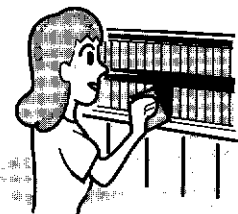
ふだん使用しないときは、テープを出し、電源を切りバッテリーをはずしておく

- 機能に支障をきたす場合がありますのでときどき電源を入れ、チェックしてください。



テープは

ケースに入れ、湿気が少なく風通しの良い、カビの発生しにくいところに立てておく

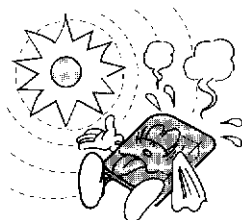


バッテリーは

長時間使用しないときは放電して保存する

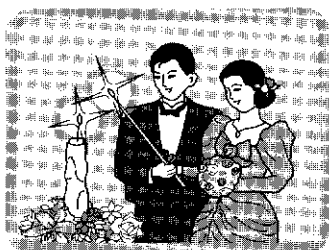
温度が上がらない乾燥したところに保存する

- 高温の場所に置くと寿命が短くなり、自己放電も多くなります。



撮影のポイント

結婚式



乾杯のシーンなどは会場全体を撮る

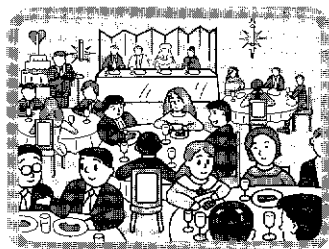
音頭をとる人を含めて全体が入るようにしたいものです。ズームをW側に動かし、できるだけズームバックして撮ってみましょう。

(P.34ページ)

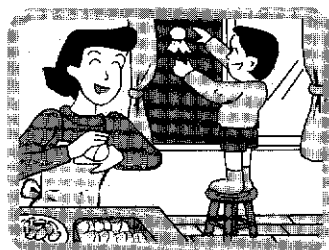
キャンドルサービスを撮る

会場が暗くなり、ろうそくの光だけが灯ります。ムービーでは感度アップ（AGC）が「オート」設定されているため、暗い場所でも自動的に明るく撮影されます。暗いシーンをそのままの暗さで撮りたいときは感度アップ（AGC）を「切」にしてください。

(P.44ページ)



運動会



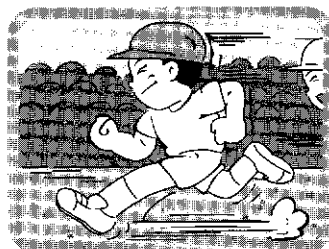
前日の夜や当日の朝のシーンも撮る

子供やお母さんが、運動会の準備をしているシーンを冒頭に入れておけば、ぐっと雰囲気盛り上がります。日時も確認して合わせておきましょう。(P.66ページ)

子供の全力疾走シーンを撮る

躍動感あふれる被写体をねらうときは、演出／効果のスポーツを使いましょう。スロー再生や静止画再生機能のついたビデオデッキで再生したとき、ブレの少ない映像を楽しめます。

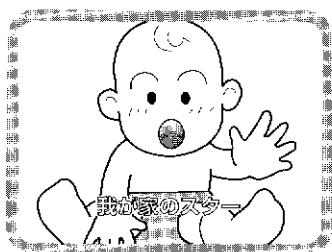
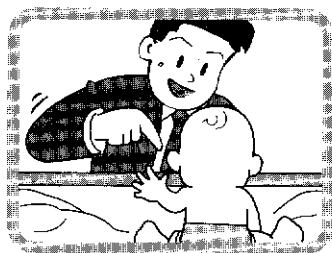
(P.40ページ)



競技のつなぎに変化をつけて撮る

いくつもの競技を続けて撮ると、時間の経過がわかりづらくなります。そこで競技のつなぎにフェーダーを使うと、映画のように自然なつなぎ撮りを行うことができます。(P.42ページ)

赤ちゃんを撮る



赤ちゃんを撮りたい気持ちを抑えてまず 状況説明を

成長記録として残すために、生まれた病院の風景や病院を訪ねるお父さん自身、出産直後のお母さんの姿も記録しておきます。日時も確認して合わせておきましょう。(P.66ページ) また、タイトルを、画面に入れて撮影することもできます。(P.45～46ページ)

アングルを変えて撮る

低いアングルで赤ちゃんの視点から家族を撮る。高いアングルでお母さんの視点から赤ちゃんを撮る。いろいろなアングルを使うと、対話しているような演出ができます。

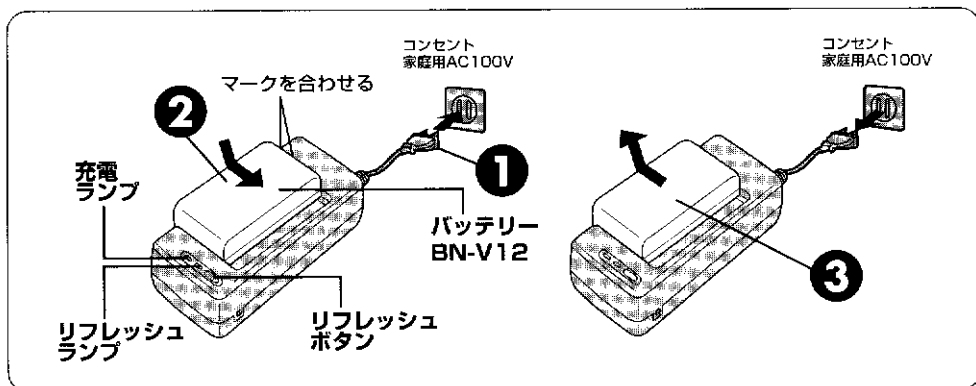
小さな手を撮っておく

赤ちゃんの小さな手をお母さんの手とくらべているカットを撮ります。そのときはつまらなく思えても、10年後、20年後、子供がお母さんと同じ大きさの手になったときには、懐かしい大切な思い出のシーンになります。

準備する

バッテリーを充電する

ムービーはバッテリーで動きます。ACパワーアダプターAA-V15（付属）で、まずバッテリーを充電しましょう。



1 付属のACパワーアダプターの電源コードをコンセントに差し込む

2 バッテリーを差し込む
●充電ランプが点滅します。
●点滅から点灯に変わったら充電完了です。

3 バッテリーをはずす
●電源コードもはずします。

バッテリー 充電／リフレッシュ時間の目安表

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V15	約1時間25分	約5時間
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V25	約2時間40分	約10時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V65	約2時間10分	約7時間

ACパワーアダプターAA-V15使用の場合

●リフレッシュ時間は容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

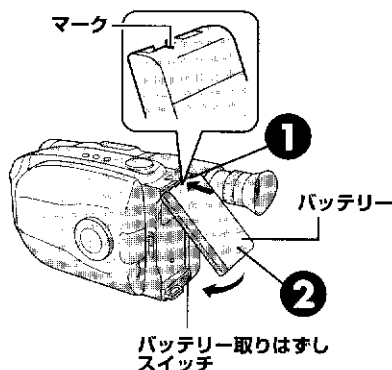


- ACパワーアダプターAA-V15は、AC（交流）100～240V、50/60Hz仕様です。海外でもお使いになれます。（P.64ページ）
- バッテリー以外に室内や車内で使える電源もあります。（P.24ページ）
- 充電中や、リフレッシュ中に、DCコードをACパワーアダプターに接続すると、電源がムービーに供給され、バッテリーの充電やリフレッシュは中断されます。

- バッテリーは使い切らないまま充電すると容量が低下します。使いかけのバッテリーは使いきるか、リフレッシュ（放電）してから充電してください。
- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。使用する直前か前日に、充電してください。

バッテリーを取り付ける

充電したバッテリーをマークに合わせて取り付けます。



バッテリーを取り付ける

① バッテリーをマークに合わせて取り付ける

② カチッと音がするまで差し込む

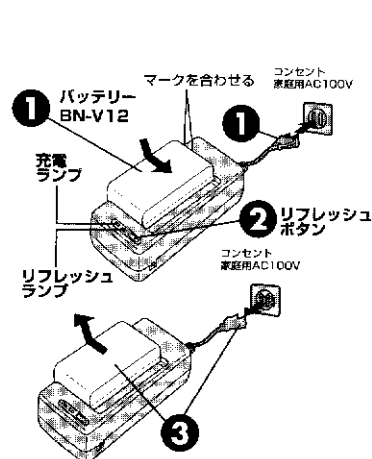
バッテリーを取りはずす
バッテリー取りはずしスイッチを三角
マークの方向にスライドさせる。

準備

気をつけてください
ムービーの電源が入っているときはバッテリーなどの電源を取りはずさないでください。
誤動作の原因になります。取りはずすときは、電源を切ってください。

バッテリーをリフレッシュする

バッテリーの性能を長持ちさせるために、リフレッシュ機能で5回の充電につき1回を目安にリフレッシュ（放電）することをおすすめします。



① 付属のACパワーアダプターの電源コードをコンセントに差し込み、バッテリーを差し込む

② リフレッシュボタンを押す

● リフレッシュランプが点灯し、リフレッシュが始まります。リフレッシュランプが消えるとリフレッシュ（放電）完了です。そのままバッテリーを取り付けると充電ランプが点滅し、充電が始まります。

● ACパワーアダプターの電源プラグを、コンセントに差さずにリフレッシュボタンを押すと、充電せずにリフレッシュすることが出来ます。

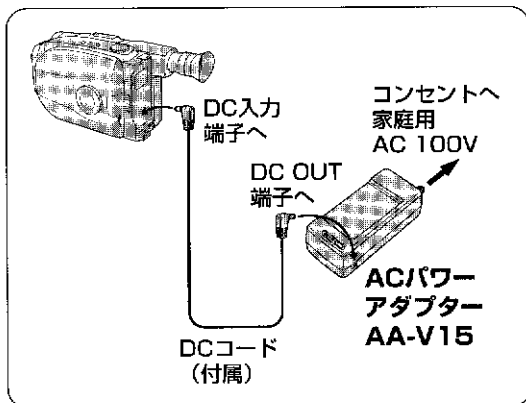
● リフレッシュ済み（容量が残っていない状態）のバッテリーは、ACパワーアダプターに取り付けてもリフレッシュされません。

③ バッテリーを取りはずす

● 取り付けたときと逆の方向へバッテリーをスライドさせます。取りはずしたらACパワーアダプターの電源プラグを抜いてください。

室内で電源を使うとき

ACパワーアダプターAA-V15 (付属) を使って、ご家庭のコンセントから直接電源を利用できます。



1 ACパワーアダプターを電源につなぐ

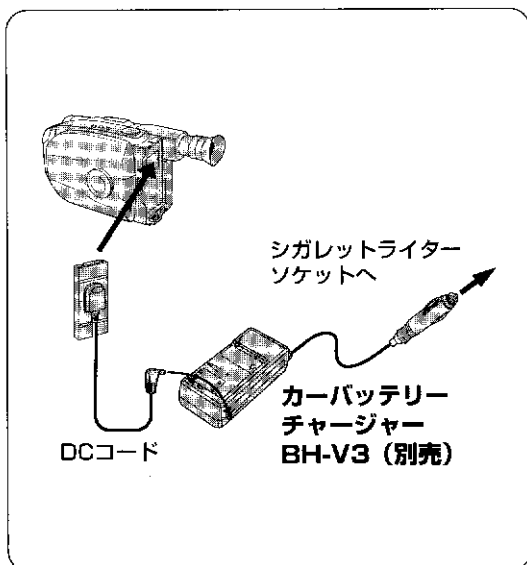
ACパワーアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 ムービーへ電源を供給する

DCコード (付属) で、ACパワーアダプターとムービーをつなぎます。使い終わったらACパワーアダプターの電源プラグを抜いてください。

車内で電源を使うとき

カーバッテリーチャージャーBH-V3 (別売) を使います。くわしくはBH-V3の取扱説明書をご覧ください。



1 カーバッテリーチャージャーを電源につなぐ

カーバッテリーチャージャーの電源プラグを、シガレットライターソケットに差し込みます。

●バッテリーの充電もできます。(BN-V50の充電はできません。)

●日本車、米国車、欧州車 対応です。

●電源供給のみの、カーバッテリーコードAP-V7 (別売、12Vマイナースアース車専用) もあります。

2 ムービーへ電源を供給する

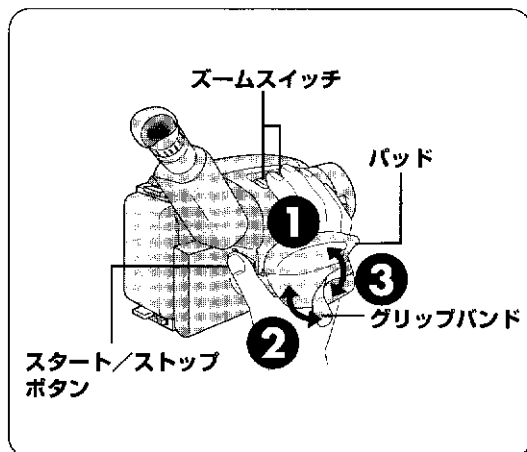
●DCコードで、カーバッテリーチャージャーとムービーをつなぎます。

●取りははずすときは、取り付けたときと逆の方向へスライドさせます。

●使い終わったらカーバッテリーチャージャーの電源プラグを抜いてください。

グリップバンドを調節する

手の大きさに合わせてグリップバンドを調節します。



1 パッドをはずす

2 グリップバンドを調節する

- 手を入れて、ズームスイッチとスタート/ストップボタンを操作しやすいように調節してください。

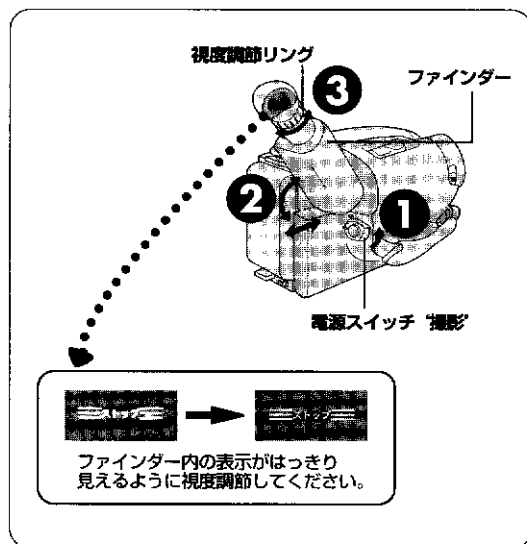
3 パッドをはりつける



準備

ファインダーを調節する

ファインダー内の画面が見やすいように調節します。



1 電源を取り付ける

- ムービーにバッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを「撮影」にします。

2 ファインダーを手前に引き出し、見やすいように位置と角度を調節する

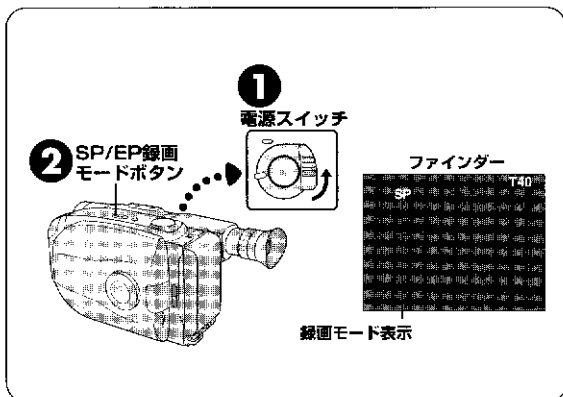
- 位置は前後に、角度は90°動きます。

3 ファインダーのピントを調節する

- 視力に合わせてファインダー内の表示が見やすくなるように視度調節リングを回して調節します。

録画モードを選ぶ

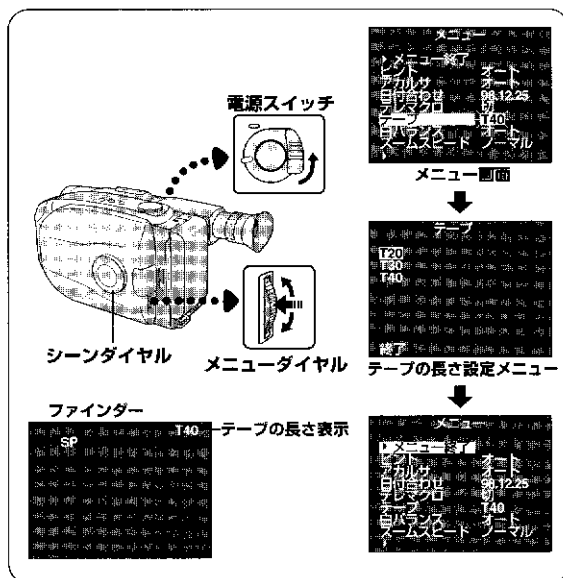
SP (高画質モード) とEP (長時間モード) の2種類の録画モードがあります。EPは撮影時間がSPの3倍になります。テープを経済的に使いたいときにおすすめします。(標準専用のVHSビデオでは再生できませんのでご注意ください。)



- 1 電源を入れる
 - 電源スイッチを‘撮影’にします。
- 2 録画モードをえらぶ
 - SP/EP録画モードボタンを約1秒以上押します。押すごとにファインダー内に、えらんだ録画モードの表示 (SP、EP) ができます。

テープの長さを選ぶ

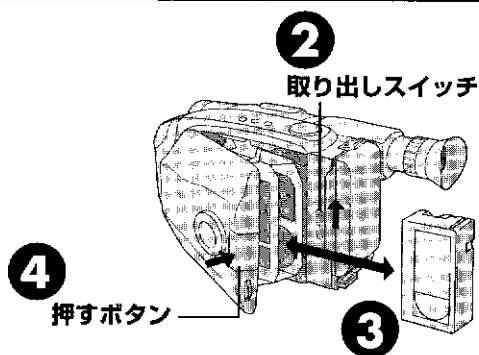
テープの残量表示を正しく表示するために、お使いになるテープに合わせテープの長さを選びます。



- 1 メニュー画面を表示させる
 - 電源スイッチを‘撮影’にします。
 - シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
 - メニューダイヤルを押します。
- 2 テープを選ぶ
 - メニューダイヤルを回して‘テープ’を選び、メニューダイヤルを押します。
- 3 使用するテープの長さを選ぶ
 - メニューダイヤルを回してお使いになるテープの長さに合わせます。(T20=20分テープ、T30=30分テープ、T40=40分テープ)
- 4 メニュー画面を閉じる
 - メニューダイヤルを2回押してメニュー画面を閉じます。

テープを入れる

準備



1 電源を取り付ける

- バッテリーなどの電源を取り付けます。

2 カセットカバーをあける

取り出しスイッチを矢印の方向へスライドさせます。

- カセットカバーは自動的に開きます。無理に手であけないでください。

3 テープを入れる

テープの窓側を外にして、奥まで確実にに入れてください。

- 取り出すときは、入れるときと同様に①～②の操作をしてテープを取り出してください。

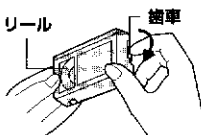
4 カセットカバーをしめる

カチッと音がして確実にしまるまで、押すボタンを押してください。



テープのたるみはなくしてから使う

- テープのたるみは、テープを痛める原因になります。ご使用前に、巻車をリールが一緒に動くまで矢印方向に回してたるみなくしてください。

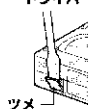


テープの出し入れだけを繰り返すと、たるみの原因になります。

誤って大切な記録を消さないために



ドライバー

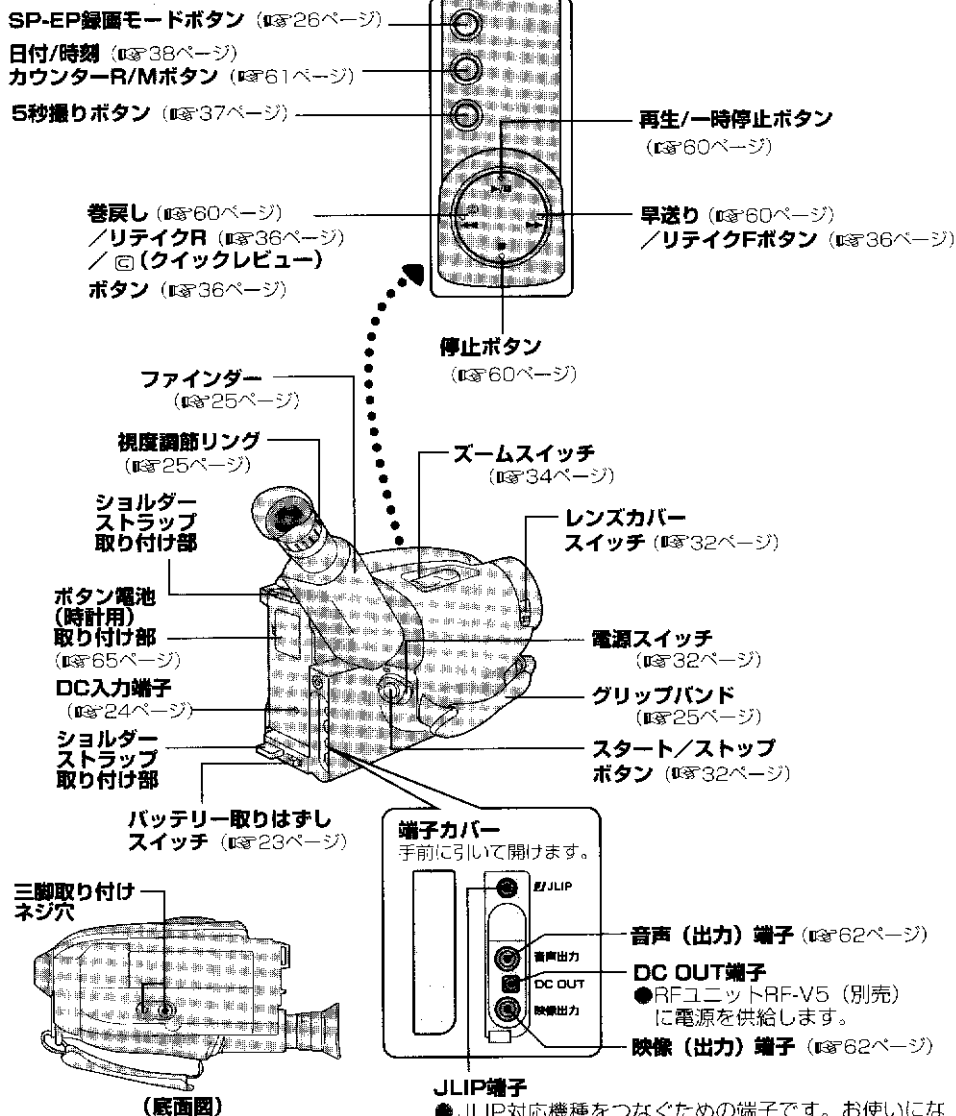


‘ツメ’をOFF側にスライドさせます。撮影するときはON側にしてください。

‘ツメ’の部分がスライド式でない場合は‘ツメ’を折りまです。再び撮影するときは、ツメの部分にセロハンテープを二重に貼ってください。

各部のなまえ

☞ は参照ページです。



JLIP端子
●JLIP対応機種をつなぐための端子です。お使いになれるJLIP対応機種については、販売店にお問い合わせいただくか、インターネット上のwwwサーバに記載されている最新情報をご覧ください。
<www><http://www.jvc-victor.co.jp/>



準備

カメラセンサー

●撮影に必要なセンサーが入っています。指などでふさがないようにしてください。

カセット取出しスイッチ
(P.27ページ)

メニューダイヤル
(P.52ページ)

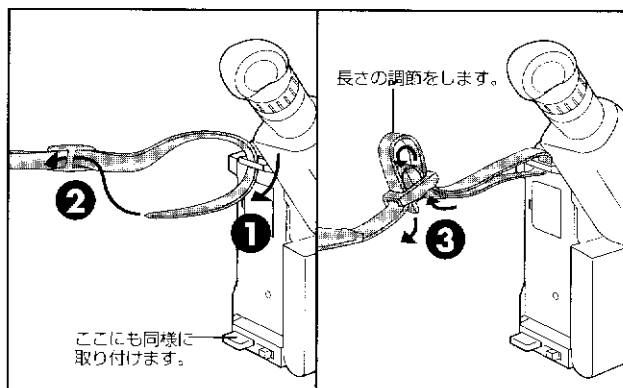
押すボタン (P.27ページ)

コントロールボタン
フェーダーボタン (P.42ページ)
シネマボタン (P.43ページ)
感度アップボタン (P.44ページ)
タイトルボタン (P.45ページ)

シーンダイヤル
(P.40ページ)

マイク

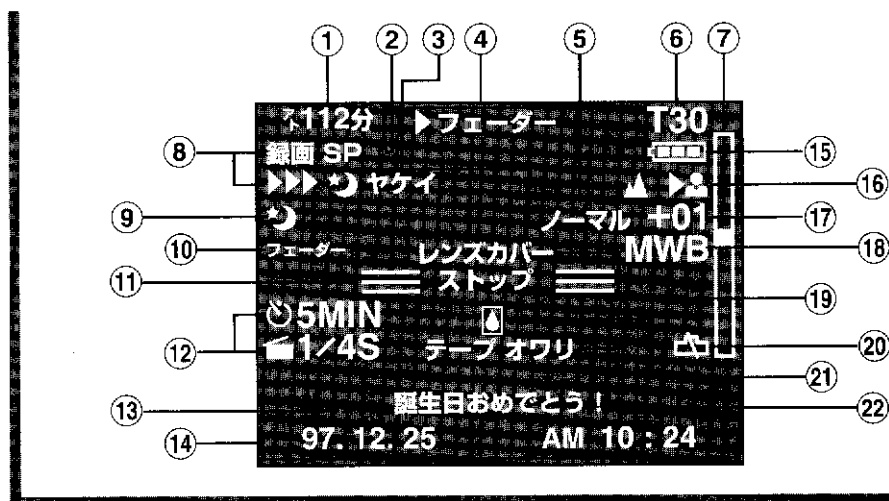
ショルダーストラップの取り付け方



●ショルダーストラップを引っ張り、確実に取り付けられたか確認してください。

ファインダー内の表示

☞ は参照ページです。



① テープ残量表示(☞32ページ)／テープ表示

- テープのおおよその残り時間を表示します。
- テープが入っていないときや、消去防止用のツメが「OFF」になったり折れているテープなどが入っていると が点滅します。

② 録画モード表示(☞26ページ)

③, ⑨ シーンダイヤル表示(☞40ページ)

③を表示したあと、約1秒後に⑨が表示されます。

③, ⑩ フェーダー表示(☞42ページ)

③を表示したあと、約2秒後に⑩が表示されます。

④ マルチ機能表示(☞42～45ページ)

⑤ 感度アップ表示(☞44ページ)

⑥ テープの長さ表示(☞26ページ)

⑦ ズーム表示(☞34ページ)

⑧ 録画表示(☞32ページ)

⑪ 撮影一時停止表示(☞32ページ)

⑫ セルフタイマー表示(☞54ページ)

／アニメ表示(☞56ページ)

⑬ タイトル表示(☞45ページ)

⑭ 日時表示(☞38ページ)

⑮ バッテリーアラーム表示

バッテリーの充電容量が少なくなると

のように表示が変わり、終わりに近づくとき が点滅します。(が表示されていても容量いっぱいとはかぎりません。) バッテリーが終わると自動的に電源が切れます。充電したバッテリーにかえてください。

⑯ ビント表示(☞48ページ)

⑰ 明るさ調節表示(☞49ページ)

⑱ 白バランス表示(☞50ページ)

⑲ レンズカバー表示

電源を入れたとき、レンズカバーが閉まっていると約5秒間点滅します。

⑳ 時計表示(☞65ページ)

ムービーの電源を入れたときに10秒間点滅したら、時計用のボタン電池が入っていないか容量がなくなっています。新しいボタン電池を入れてください。(☞65ページ) その後時計を合わせ直してください。(☞66ページ)

㉑ ●つゆつき表示(☞16ページ)

つゆつきが起り、撮影や再生ができなくなると表示します。電源を切って数時間待ち、その後電源を入れて表示が消えてからムービーを操作してください。

㉒ テープオフリ表示(☞32ページ)

撮影する（基本編）

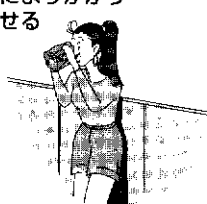
安定した姿勢で撮影する

より安定した撮影のためには姿勢が大切です。

低い位置の
撮影



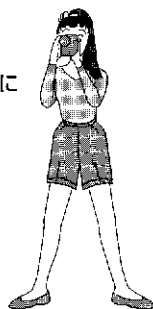
壁や柱によりかかり
安定させる



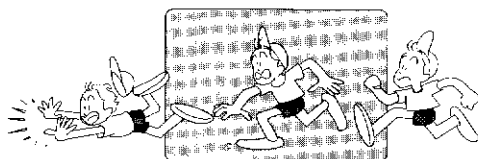
左手もムービーに
そえる

わきをしめる

足は少し開き
しっかり構える



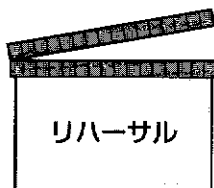
ムービーを動かさない



安定した映像で撮影するためには、ムービーを固定して撮ります。

左右に動かすとき（パンニング）は、水平にゆっくり動かします。撮りはじめと撮り終りは、ピタッと止めます。

カメラリハーサルをおこなう

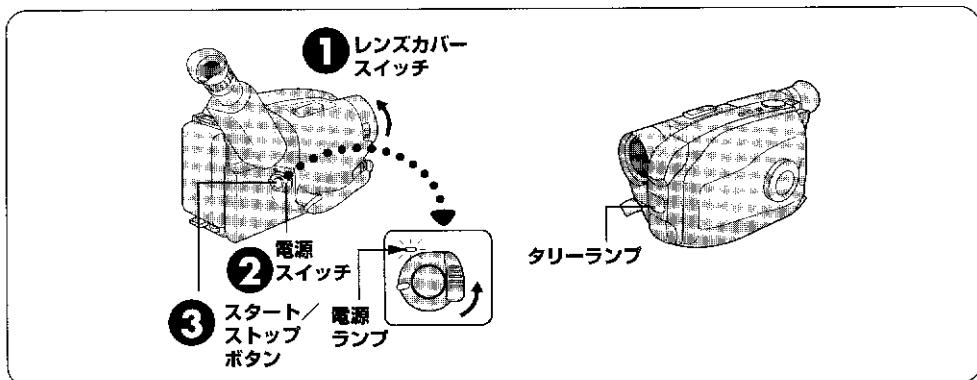


電源スイッチを、「撮影」にすれば、テープを入れなくてもムービーで撮っている映像を見ることができます。この状態で映像/音声コードをつなげば外部映像機器に出力することができます。（接続のしかたは  62ページ）

撮影する

撮影をする前に、以下の準備をしてください。

- ・電源を準備する (P.22ページ)
- ・テープの長さをえらぶ (P.26ページ)
- ・録画モードをえらぶ (P.26ページ)
- ・テープを入れる (P.27ページ)

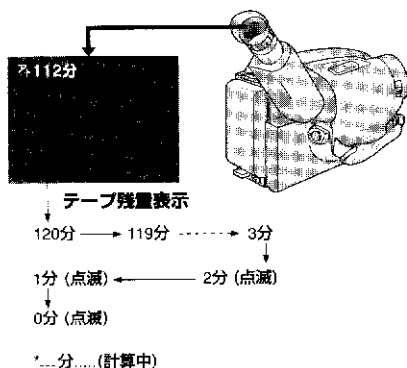


- 1 レンズカバーをあける**
 レンズカバースイッチを矢印の方向へスライドさせます。
 ● レンズカバーはムービーのレンズを保護します。持ち運びするときは、しめておいてください。

- 2 電源を入れる**
 ● バッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを「撮影」にします。電源ランプが点灯し、撮影一時停止になります。

- 3 撮影する**
 スタート/ストップボタンを押し、撮影を始めます。

- 撮影中はタリーランプが点灯します。
- 表示している日時も記録します。(P.38ページ)
- 撮影中はファインダー内に **REC** の表示がでます。撮影をストップすると、撮影一時停止表示 **≡ストップ≡** が出ます。
- ファインダー内にテープ残量表示が出ます。(残量表示はおおよその値です。テープによって違いがあります。)
- 残り2分を切るとテープ残量表示は点滅し、テープが終わるとファインダー内に「テープオワリ」の表示が出ます。



4 撮影をやめる

もう一度スタート／ストップボタンを押せば、撮影一時停止になります。



テープの途中から撮影するときは

- テープの位置がずれて、再び撮影するときに前の記録が消えることがあります。リテイク(▶▶ 36ページ)で、撮りはじめたいところを頭出ししてから撮影をはじめてください。

カメラリハーサル状態にするには

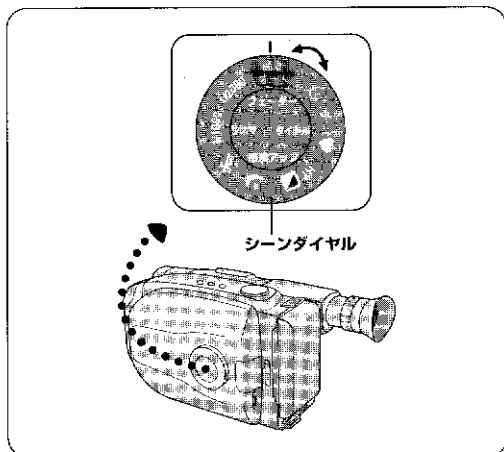
- 電源スイッチを「撮影」にすれば、テープを入れなくてもムービーで撮っている映像を見ることができます。
この状態で映像／音声コードをつなげば外部映像機器に出力することができます。(接続のしかたは▶▶ 62ページ)

次の撮影まで時間があくときは

- ムービーの電源を切ってください。
バッテリーの消耗を防ぎます。
- 5分以上ムービーの操作をせず撮影一時停止を続けると、節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは、電源スイッチを「切」にしてから「撮影」にします。再び撮影一時停止になり、次の撮影がきれいにつながります。(撮影をやめて5分以内にズームなどの操作をすると、そこから5分間で電源が切れます。)
- 撮影一時停止が5分以上続いている状態で、スタート／ストップボタンを押すと、撮影開始まで多少時間がかかります。

簡単オートを使う

シーンダイヤルを「簡単オート」に合わせると、基本的な操作に必要なボタンを押しても動作しません。初めての方でも簡単に撮影できます。



1 シーンダイヤルを合わせる

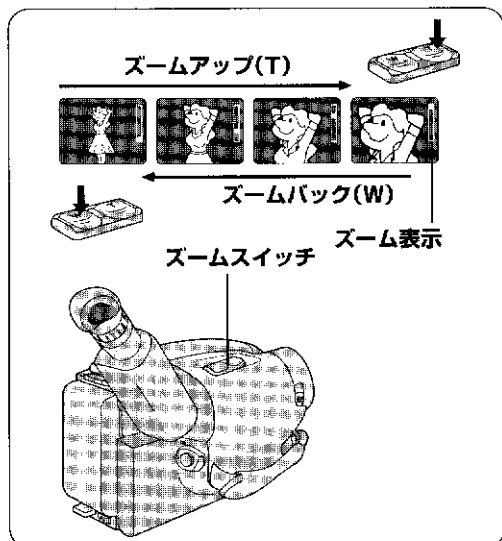
「簡単オート」に合わせます。撮影時に使える機能は、以下の8つのみとなります。

- ズーム（Ⅱ巻 34ページ）
- クイックレビュー（Ⅱ巻 36ページ）
- リテイク（Ⅱ巻 36ページ）
- フェーダー（Ⅱ巻 42ページ）
- シネマ（Ⅱ巻 43ページ）
- 感度アップ（Ⅱ巻 44ページ）
- タイトル（Ⅱ巻 45ページ）
- 5秒撮り（Ⅱ巻 37ページ）

●いろいろな機能を使いたいときは、シーンダイヤルを「スタンダード」に合わせてください。

ズームを使う

撮影中に被写体にズームすることができます。被写体が遠いところにいるときや、画面に変化を付けたいときなどにご利用いただけます。



1 被写体のズームアップ／ズームバックができ、映像に変化をつけることができます。

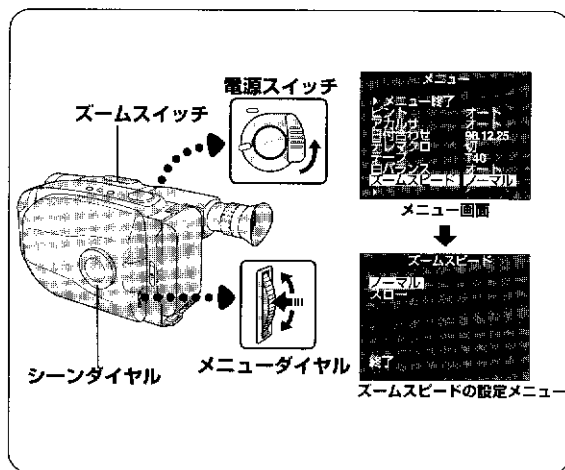
ズームスイッチはT側に動かすとズームアップし、W側に動かすとズームバックします。

●ズームのスピードはズームスイッチを軽く押すと「ゆっくり」、強く押すと「速く」なります。また、シーンダイヤルが「簡単オート」以外であれば「ゆっくり」と「速く」のスピードを変えることができます。

（Ⅱ巻 35ページ）

ズームスピードの設定

ズームスピードを変えることができ合計4つのスピードの中から選ぶことができます。



1 メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを‘撮影’にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

2 ズームスピードを選ぶ

- メニューダイヤルを回して‘ズームスピード’を選び、メニューダイヤルを押します。

3 使用するズームのスピードを選ぶ

- メニューダイヤルを回してお使いになるズームのスピードを選びます。(ノーマル=通常速度、スロー=低速ズーム)

4 メニュー画面を閉じる

- メニューダイヤルを2回押してメニュー画面を閉じます。

ズームスピード

速い順に1から4です。

メニュー内 (ズームスピード)	ズームボタンの押し方	
	強く	軽く
ノーマル	1	3
スロー	2	4

シーンダイヤルが‘単オート’のとき

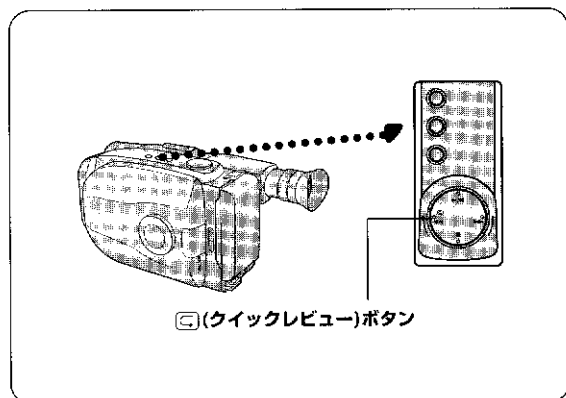


近づいて大きく撮る（マクロ撮影）

- ズームを最広角（W側）にしてレンズ前面から約1cmまで接写できます。被写体に近づき撮影したいものを画面の中央に入れてください。
- ‘テレマクロ’（P53ページ）を‘入’にすれば、ズームを最望遠（T側）にして、被写体に約60cmの距離まで近づいて撮影できます。

クイックレビュー

撮影の確認をすることができます。

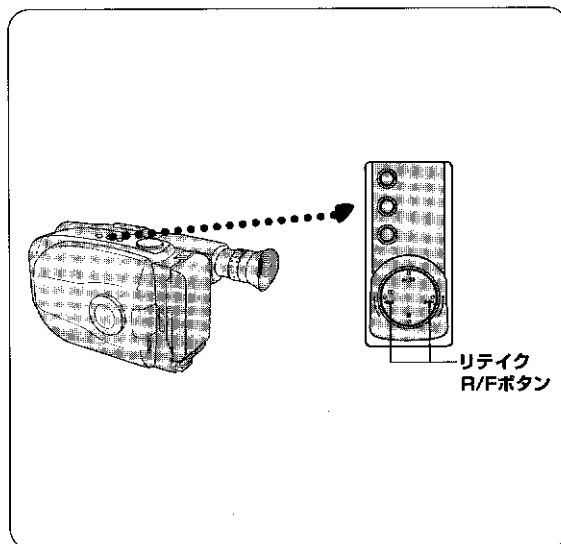


1 撮影一時停止で ボタンをボンと押してすぐ離す

- 最後のシーンを約2秒間再生し、撮影の確認ができます。再生が終わると元の状態に戻ります。
- クイックレビューで再生がはじまったとき、映像が乱れることがあります。故障ではありません。

リテイク

撮影中、失敗したなと思ったときや、テープの途中から録画するとき、ボタンひとつで撮りはじめたいところを探せます。



1 撮影一時停止の状態ではリテイクRボタンまたはリテイクFボタンを押し続ける

再生される映像を見て撮りはじめたいところを探す

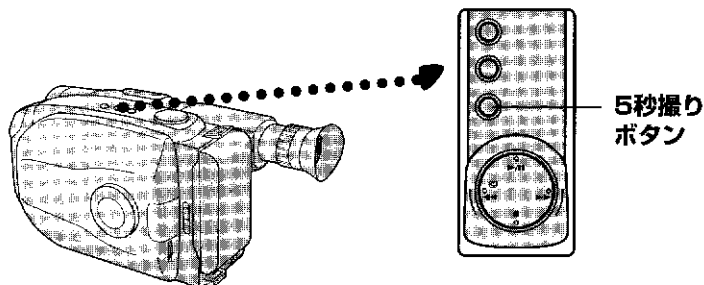
- リテイクRボタンは巻戻しの方向へ、リテイクFボタンは早送りの方向へ再生します。
- リテイク中、映像が乱れることがありますが故障ではありません。

2 撮りはじめたいところでボタンから指を離す

- 撮影一時停止の状態に戻ります。
- スタート/ストップボタンを押せば、撮影をはじめることができます。

5秒撮り

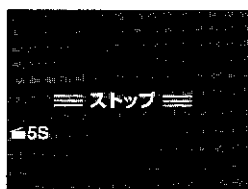
スタート/ストップボタンを押して5秒間だけ映像を撮影することができます。旅先で風景や名所の記録を5秒間ずつ映像と音声で残すなど、テンポの良い撮影ができます。



- 1 撮影一時停止で
5秒撮りボタンを押す
●ファインダーに5秒撮りモード表示が点灯します。

- 2 スタート/ストップボタンを押す
●5秒間の撮影をし、自動的に撮影一時停止になります。

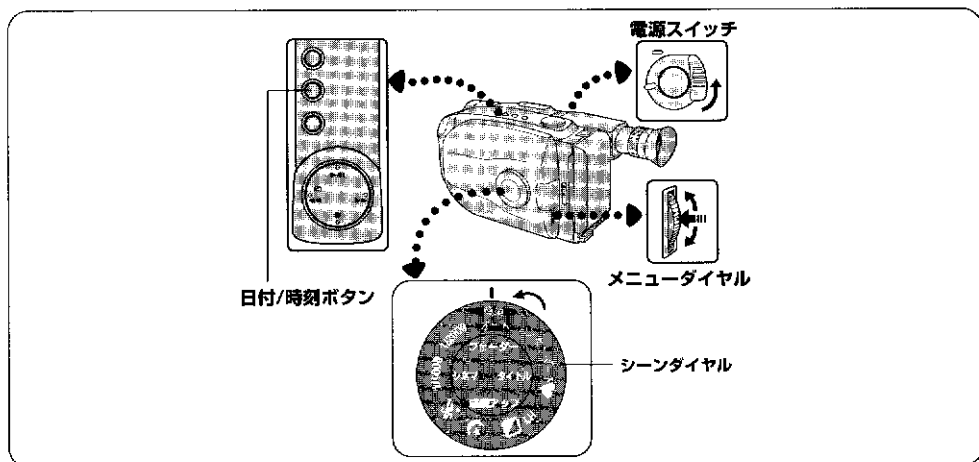
- 3 通常の撮影に戻したいときは
●5秒撮りボタンを押してください。
ファインダーから5秒撮りモード表示が消えます。



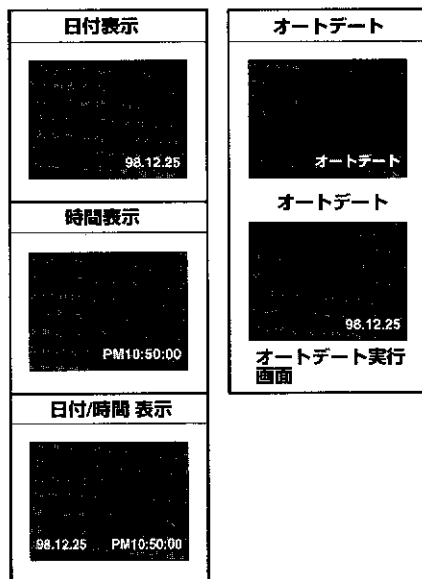
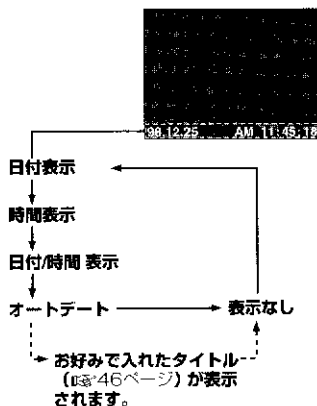
5秒撮りモード表示

日時を入れて撮る

映像に日時を入れて撮影することができます。また、お好みで入れたタイトルを入れることも出来ます。（☞ 46ページ）日時はお買い上げ時に合わせてあります。日時が正確でないときは合わせ直してください。（☞ 66ページ）



- 1 電源を入れる**
 - 電源スイッチを「撮影」にします。
 - シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- 2 表示のしかたを選ぶ**
 - 日付/時刻ボタンを押して選択します。
 - 表示のしかたは下図のとおりです。





表示や文字が出ないときは

ボタン電池の容量が切れているなどの理由で、日時の設定がされていない場合は、表示切替はできません。ボタン電池を交換し、日時を合わせ直してください。(P. 66 ページ)

表示や文字を記録したくないときは

- 「表示なし」を選んでください。
- 録画中に表示を消したいときは、日付/時刻ボタンを押してください。再び表示したいときは、撮影一時停止状態にし、日付/時刻ボタンを押し、表示を選びます。

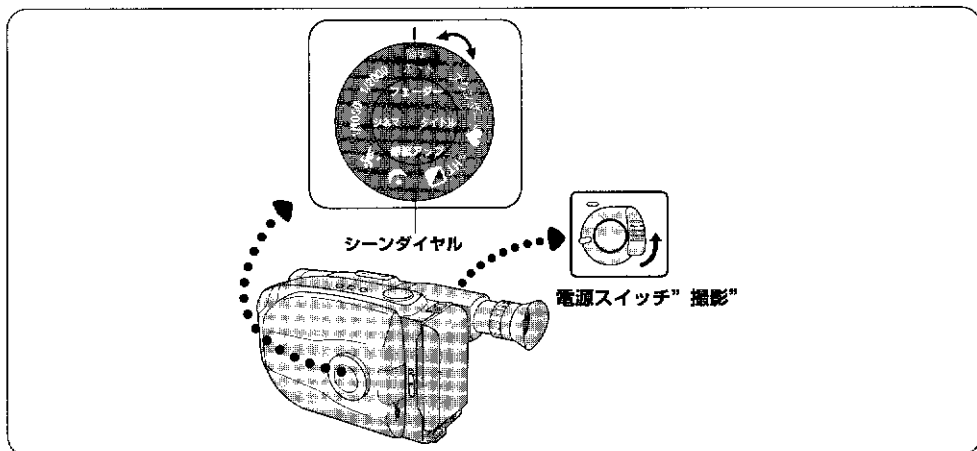
オートデート

日付が変わったとき、テープを入れかえたとき、またオートデートを選んで最初に録画スタートするとき、約5秒間自動的に日付を表示/記録します。シーンダイヤルを「簡単オート」に合わせると、日付の表示はオートデートのみになります。

撮影する（応用編）

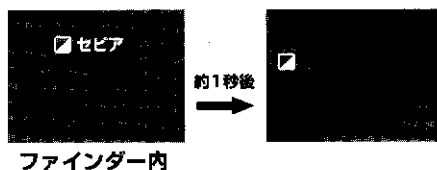
映像に変化をつける（演出/効果）

映像に変化をつけて、撮影することができます。



- 1** 電源を入れる
●電源スイッチを「撮影」にします。

- 2** 演出／効果を選ぶ
シーンダイヤルを、使いたい演出／効果に合わせてください。
●ファインダー内に選んだ演出／効果のマークと機能名が表示され、約1秒後にマークのみとなり、演出／効果が設定されます。
●撮影中や撮影一時停止状態でも、演出／効果を選び直すことができます。



- 3** 通常の撮影に戻したいときは
●シーンダイヤルを「簡単オート」または「スタンダード」に合わせてください。

シーンダイヤルの表示	ファインダー内の表示	機能名	こんなことができます
	♥ ファンタジー	ファンタジー	霧がかかったようなソフトなイメージの映像を撮影することができます。
HT	HT ハーフトーン	ハーフトーン	薄い色のサングラスをかけて見るような映像を撮影することができます。画面の白っぽさを抑えたいときに役立ちます。
	■ セピア	セピア	映像がセピア色に記録され、古い映画のような雰囲気を楽しめます。
	★ ヤケイ	ヤケイ(夜景)	夕日が沈むときなど、夜景を撮るときザラザラしない自然な感じで撮影することができます。
	⚡ スポーツ	スポーツ	シャッタースピードが、周囲の明るさに応じて自動で1/250秒~1/500秒に変化します。運動会での撮影など、動きのある被写体を撮るときに効果的です。スロー再生や静止画再生機能のついたビデオデッキで再生したとき、被写体をブレの少ない映像で楽しめます。
1/1000	1 S 1/1000	S1/1000 (1/1000秒 高速シャッター)	テニスやゴルフのスウィングなど、かなり動きの速い被写体を撮るときに効果的です。スロー再生や静止画再生機能のついたビデオデッキで再生したとき、被写体をブレの少ない映像で楽しめます。
1/2000	2 S 1/2000	S1/2000 (1/2000秒 高速シャッター)	

**セピアで撮影をするときは**

- 白バランス(☞50ページ)を調節すると、ファインダー内の白バランスの表示は変わりますが、機能としては働きません。
- フェーダー(☞42ページ)を合わせて使うと、白い画面が少し赤味をおびて録画されます。

高速シャッターで撮影をするときは

画面が暗くなります。なるべく明るい場所で撮影してください。

場面切替と一緒に使う

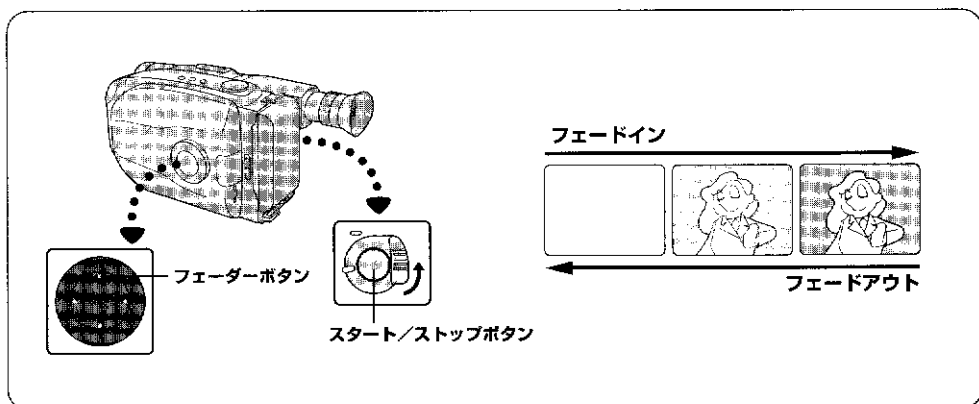
演出/効果を使つての撮影時に、フェーダー(☞42ページ)を設定しておく、と、一段といろいろな映像効果が楽しめます。

ヤケイで撮影をするときは

- シーンダイヤルを「ヤケイ」に合わせると、感度アップ(AGC)は「切」の状態になります。感度アップ(AGC)を使いたいときは、あらためて設定してください。(☞44ページ)
- 白バランスはになります。お好みで変えることもできます。(☞50ページ)
- ピントは10m~無限遠の間で、自動的に合います。10m以内のときは手動で合わせてください。(☞48ページ)

場面のつなぎに変化をつける（フェーダー）

場面の切り替えに変化をつけることができます。また後で編集をするときにも便利です。映画やテレビのように、場面が徐々に薄れて消えていくことをフェードアウト、徐々に浮かび上がってくることをフェードインといいます。

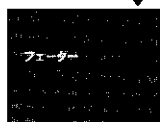


1 フェーダーを予約する

- 電源スイッチを撮影にします。
- フェーダーボタンを押します。
ファインダー内に次のように表示されます。



約2秒後



2 フェーダーを使う

スタート/ストップボタンを押します。

撮影一時停止のとき：

フェードインしながら撮影がはじまります。

撮影中のとき：

フェードアウトして撮影一時停止になります。

3 フェーダーの予約を取り消す

- フェーダーボタンを押します。
フェーダー表示が消えます。



フェードイン/フェードアウト状態を長くする

スタート/ストップボタンを押している間はフェードイン/フェードアウト状態が続きます。

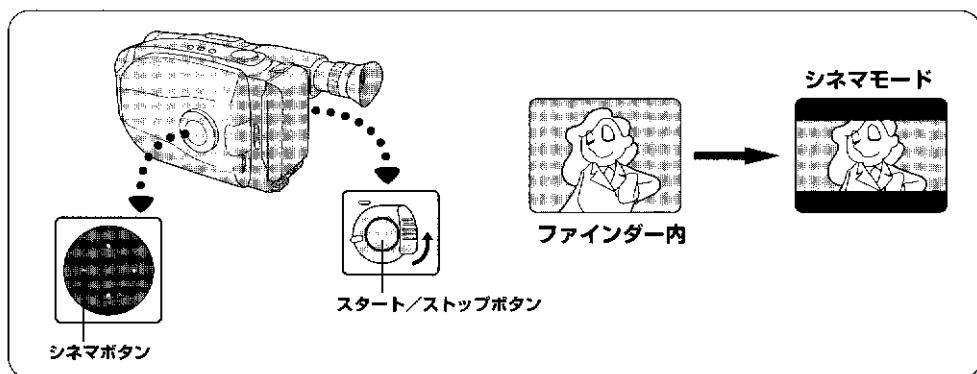
演出／効果と一緒に使う

フェーダーを使っの撮影時に、演出／効果（P.40ページ）を設定しておくと、一段といろいろな映像効果が楽しめます。

シネマ効果をつける

映像の上下に黒い帯を入れて撮影することができます。

画面比率が4:3のテレビやファインダー内では、再生時、撮影時、ともに上下に黒い帯が入り16:9の映画のような映像になります。



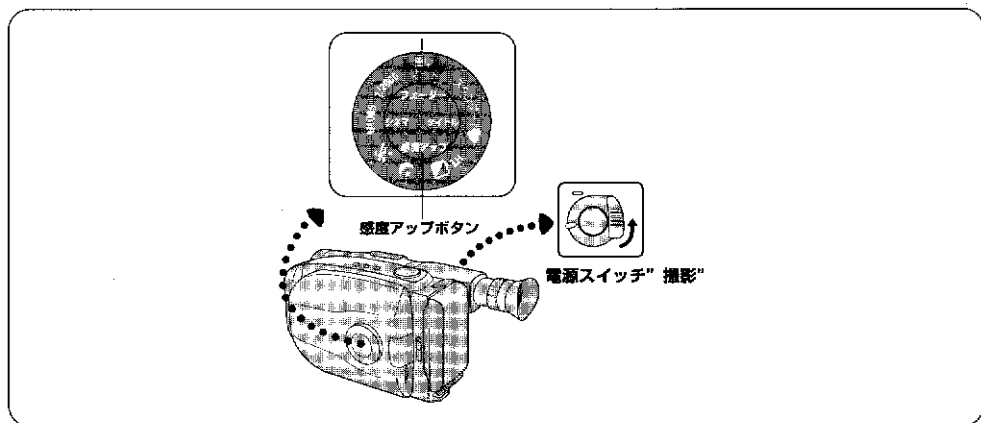
1 シネマを予約する

- 電源スイッチを「撮影」にします。
- シネマボタンを押します。
上下に黒い帯が出ます。

取り消したいときは、もう一度シネマボタンを押してください。押すごとに設定、取り消しを繰り返します。

感度をあげる（感度アップ）

暗い場所で被写体を明るく撮る場合や暗いシーンをそのままの雰囲気で撮影する場合に便利です。



1 電源を入れる

●電源スイッチを「撮影」にします。

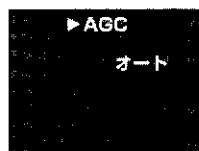
2 感度アップをえらぶ

感度アップボタンを押して、使いたい感度に合わせてください。

オート 暗い場所で、被写体を明るく撮ることができます。電気的な処理をしているために、暗い場所では多少映像がザラザラした感じになります。

ノーマル 薄暗い場所で、被写体を明るく撮ることができます。'オート'より画面は暗くなりますが、ザラザラ感は少なくなります。

切 暗いシーンをそのままの暗さで撮影します。



ファインダー内

約2秒後に表示が消えます。

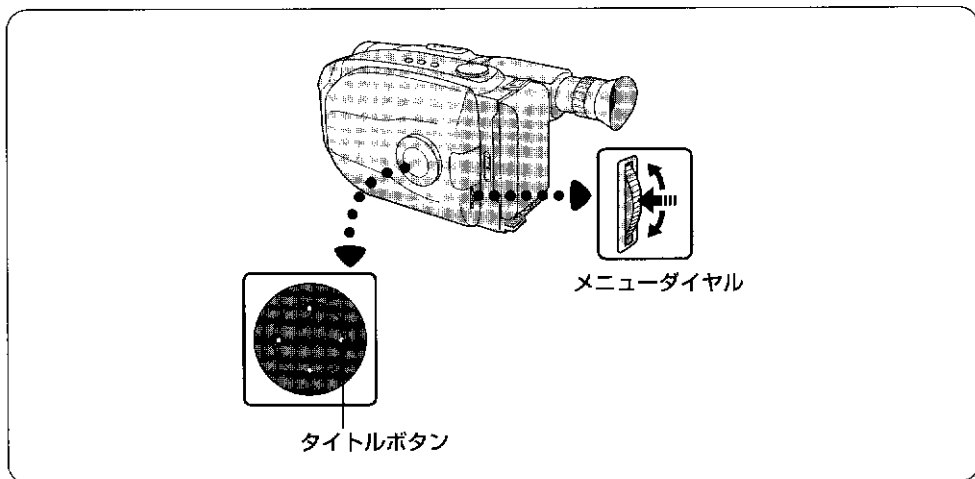
3 通常の撮影に戻したいときは

感度アップボタンを押して、'オート'にしてください。

タイトルを入れて撮る

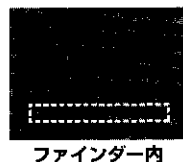
8つのタイトルの中から映像にあったものを入れて撮影することができます。

- 自分だけのタイトルを作って入れることもできます。(P.46ページ)



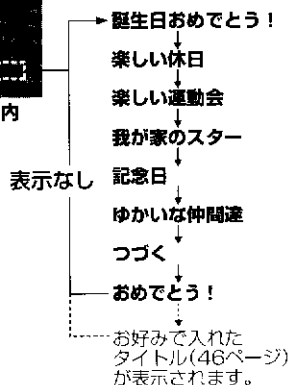
1 タイトルを選ぶ

- 電源スイッチを「撮影」にします。
- タイトルボタンを押してお好みのタイトルを表示させます。
- 自分だけのタイトルを作りたいときは (P.46ページ)



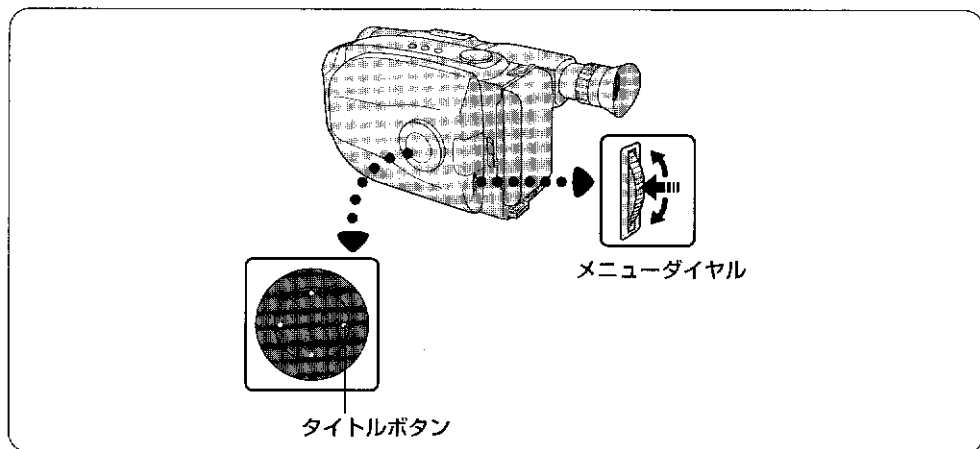
2 タイトルを消すには

- タイトルが消えるまでタイトルボタンを押します。



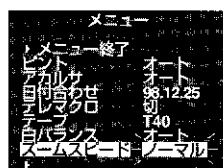
自分だけのタイトルを作る

最大18文字までの、お好みのタイトルを作ることができます。



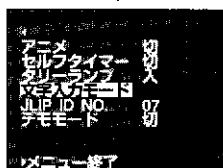
1 メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを「撮影」にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



2 文字入力モードを選ぶ

- メニューダイヤルを文字入力モードのメニューがでてくるまで下に回します。
- メニューダイヤルを回して「文字入力モード」を選び、メニューダイヤルを押します。
（文字入力モードの画面が表示されます。）



文字入力モード画面

3 タイトルを作る

メニューダイヤルを使ってタイトルを入力します。

- メニューダイヤルを回して文字を選びます。
- メニューダイヤルを押して文字を決定します。
- 繰り返して最大18文字まで入力できます。



4 文字入力を終える

- メニューダイヤルを回してカーソルを終了に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



5 メニュー画面を閉じる

- メニューダイヤルを押します。



6 入力したタイトルを表示する

- タイトルボタンまたは日付/時刻ボタンを押して入力したタイトルを表示することができます。
- (☞45、38ページ)



文字を入れる位置を選ぶ

文字と文字の間をあけたり、入力した文字を書き直すことができます。

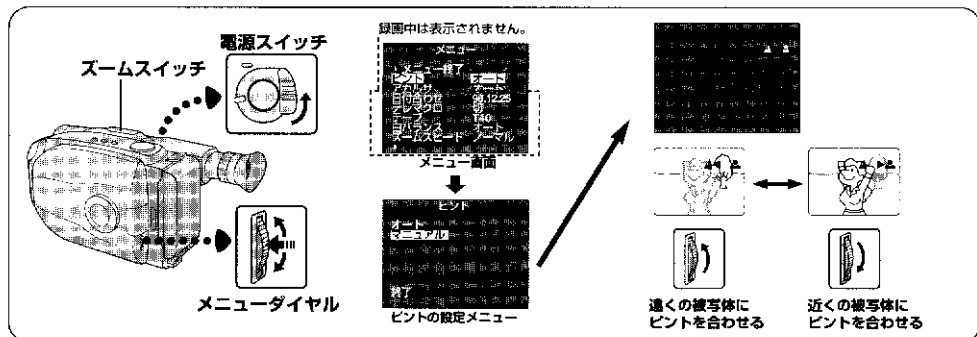
- メニューダイヤルを回して、画面下の'◀'または'▶'を点滅させます。
- メニューダイヤルを押して画面下の入力文字列の四角を左右に動かし、入れたい位置にします。
- メニューダイヤルを回して、あらたに入れたい文字を選びます。(文字と文字の間をあけたいときや、1文字だけ消したいときは、画面左上の□を選びます。)

入力した文字を全て消す

メニューダイヤルを回して、画面右下の'クリアー'を選びメニューダイヤルを押します。

ピントを合わせる

ピントは約1cmから無限遠まで、自動で合うようになっています。合いにくい場合や被写体が画面中央にないときなどは、手動でピントを合わせることをおすすめします。



1 メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを「撮影」にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

3 ピントを調節する

- メニューダイヤルを回してピントを調節します。
- 遠くの被写体にピントを合わせる**
メニューダイヤルを上に戻します。ファインダーに手動ピント表示 ▲◀▶ が出て、◀が点滅します。手を離すとピントが固定されます。
- 近くの被写体にピントを合わせる**
メニューダイヤルを下に戻します。ファインダーに手動ピント表示 ▲▶▶ が出て、▶が点滅します。手を離すとピントが固定されます。

2 ピントを選ぶ

- メニューダイヤルを回して「ピント」を選び、メニューダイヤルを押します。
- メニューダイヤルを回して「マニュアル」を選びメニューダイヤルを押します。ファインダー内に固定ピント表示 ▲▶▶ が出て、ピントが固定されます。

4 メニュー画面を閉じる

- メニューダイヤルを2回押してメニュー画面を閉じます。



ピントが合わない

- 汚れやゆづつきなどでレンズにくもりがあると正しいピント合わせができません。汚れは柔らかい布などでふき取り、ゆづつきは（P.16ページ）消えるまで待つて撮影してください。
- ズームアップ状態でコントラストのほとんど無い被写体を撮影すると ▲▶▶▶ が点滅し、ピント合わせのため自動的にズームバックします。テレマクロ（P.45ページ）使用中はズームバックすることはありません。

▲または ▶▶▶ が点滅する

ピントが最遠点、最至近点になるとファインダー内の▲▶▶がそれぞれ点滅します。目安としてお使いください。

●こんなときに手動でピントを合わせます

- ・平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
- ・金網などの障害物が被写体との間にあるとき
- ・細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
- ・蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

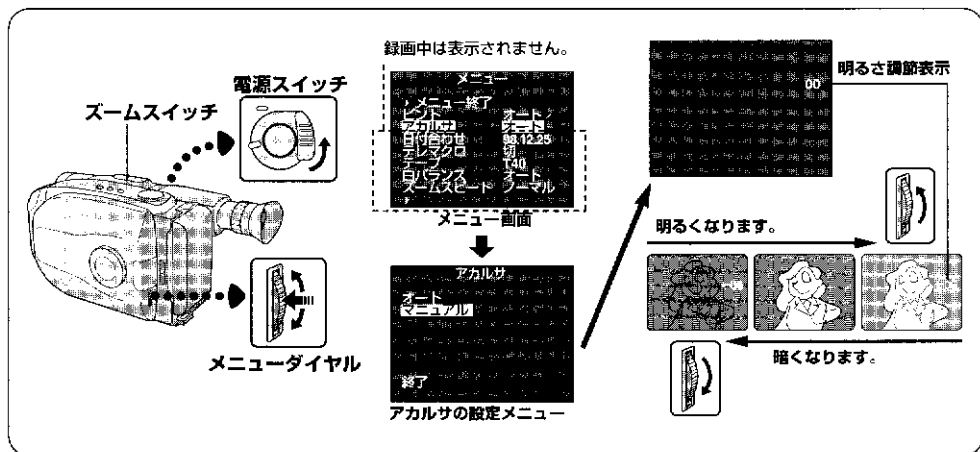


ピントを自動調節に戻すには

- 手順③で「オート」を選びます。
- シーンダイヤルを「簡単オート」に合わせて自動調整に切り替えることができます。

明るさを調節する

通常は被写体がはっきり映るように、画像の明るさを自動で調整しています。被写体に合わせて手動で調節することもできます。



① メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを'撮影'にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

② アカルサを選ぶ

- メニューダイヤルを回して「アカルサ」を選び、メニューダイヤルを押します。
- メニューダイヤルを回し「マニュアル」を選びメニューダイヤルを押します。

明るさを調節する

- メニューダイヤルを回して明るさを調節します。(-6から+6までの範囲で調節できます。)

④ メニュー画面を閉じる

- メニューダイヤルを2回押してメニュー画面を閉じます。



以下のような環境では、手動で明るさを調節することをおすすめします。

- 逆光のときや、スキー場や海辺で光の反射が強いときなど、背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき
- スポットライトの中にいる人物を撮るときなど、背景に比べて被写体が明るすぎる時

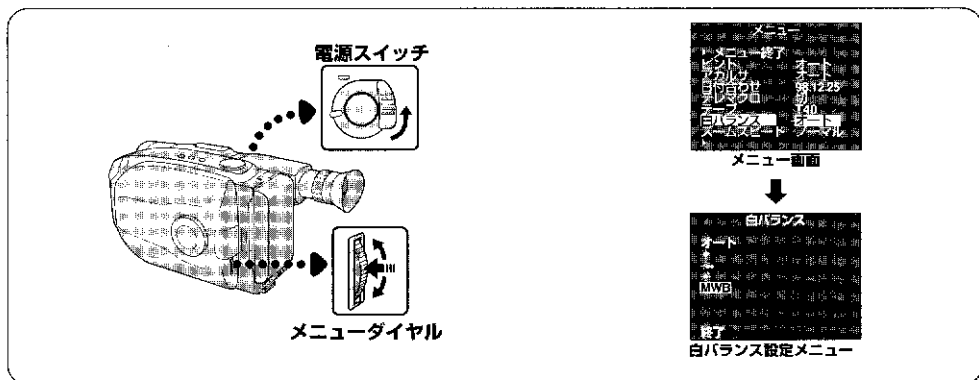


明るさ調節を自動調整に戻すには

- 手順 ③ で「オート」を選びます。
- シーンダイヤルを「簡単オート」に合わせて自動調整に切り替えることができます。

白バランスを調節する

通常の撮影では自動で白バランスを調整しています。照明がろうそくのとときと蛍光灯のとときとでは、人間の目で見ても同じ色でもムービーで撮ると違った色になります。白バランスとは、それを自然な色合いに映るようにする機能です。



1 メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを‘撮影’にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

2 白バランスを選ぶ

- メニューダイヤルを回して‘白バランス’を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(白バランスの設定メニューが開きます。)

3 白バランスを設定する

メニューダイヤルを回して選択します。

‘オート’…… 自動で白バランスを合わせます。通常はこの位置で。

‘MWB’…… 記憶した白バランス（p.51ページ）で撮影するとき

☀ …… 晴れた日に屋外で撮影するとき

☁ …… くもりの日や日陰で撮影するとき

💡 …… ライトなどの照明を使って撮影するとき

4 白バランスを決定する

- メニューダイヤルを2回押します。

5 白バランスを自動にする

手順③で‘オート’を選択しメニューダイヤルを押します。

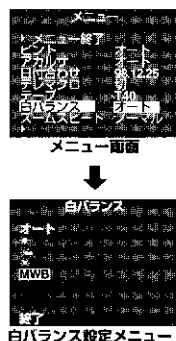
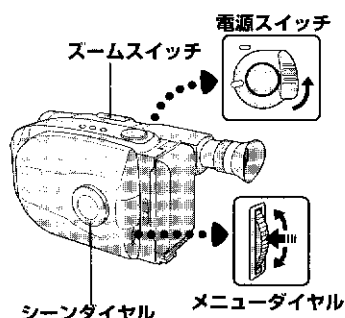
- メニューダイヤルを押します。
またはシーンダイヤルを‘簡単オート’にしてください。



テレビにつないで色合いを確認する
白バランスを調節するときは、カラーテレビに接続して色合いを確認することをおすすめします。（p.62ページ）

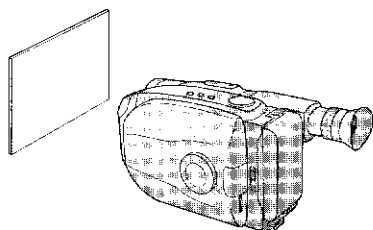
白バランスを記憶する

いろいろな光のあたっている被写体を撮影すると、写す位置によって色合いが変わります。そんなときは‘MWB’をえらんで、手動で白バランスを設定して記憶すると、色合いが統一され自然な感じで撮影することができます。



- 1 白バランスを設定する**
50ページの手順①～③をおこない、MWBを選択します。

- 2 白い紙を写す**
被写体とムービーのレンズの間に白い紙を置き、画面いっぱいに写してください。



- 3 白バランスを記憶する**
メニューダイヤルを3秒以上押し続けます。
● ‘MWB’ の表示が点滅し、白バランスを調節します。‘MWB’ の点滅する白バランス設定メニューからメニュー画面に変わったら記憶終了です。

- 4 メニュー画面を閉じる**
メニューダイヤルを押します。

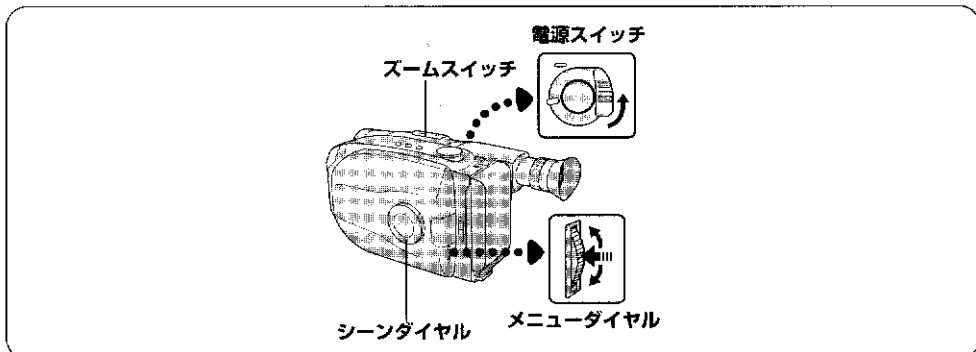
●色合いを変えて撮影する

‘MWB’ をえらんで手動で白バランスを設定するときに、白い紙のかわりに色紙を使うと、その色を基準に色合いを調節し、少し変わった色で撮影を楽しめます。

- 例：赤い紙を使うと → 緑がかった色
青い紙を使うと → オレンジがかった色
黄色い紙を使うと → 青みがかった色
緑色の紙を使うと → 紫がかった色

メニューを使って機能設定をする

メニュー画面を使っていろいろな機能を設定することができます。



1 メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを'撮影'にします。
- シーンダイヤルを'スタンダード'に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。

2 設定したい項目を選ぶ

- メニューダイヤルを回して項目を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(項目の設定メニューが開きます。)

3 機能を設定する

- 'ピント'、'アカルサ'、'日付合わせ'、'文字入力モード'のときはそれぞれのページをご覧ください。
ピント：▶48ページ、
アカルサ：▶49ページ
日付合わせ：▶66ページ
文字入力モード：▶46ページ
- 'JLIP ID NO'のときは
 - ・メニューダイヤルを押すと数字が点滅します。
 - ・メニューダイヤルを回して数字を変更し、メニューダイヤルを押します。
 - ・メニューダイヤルを回して'終了'を選びます。
- その他の機能のときは
 - ・メニューダイヤルを回して設定を選びます。
 - ・項目の設定メニューが開く前の設定に戻りたいときは、'終了'を選びます。

4 設定を終える

- メニューダイヤルを押します。
メニュー画面に戻ります。
- メニューダイヤルをもう一度押すとメニュー画面が消えます。

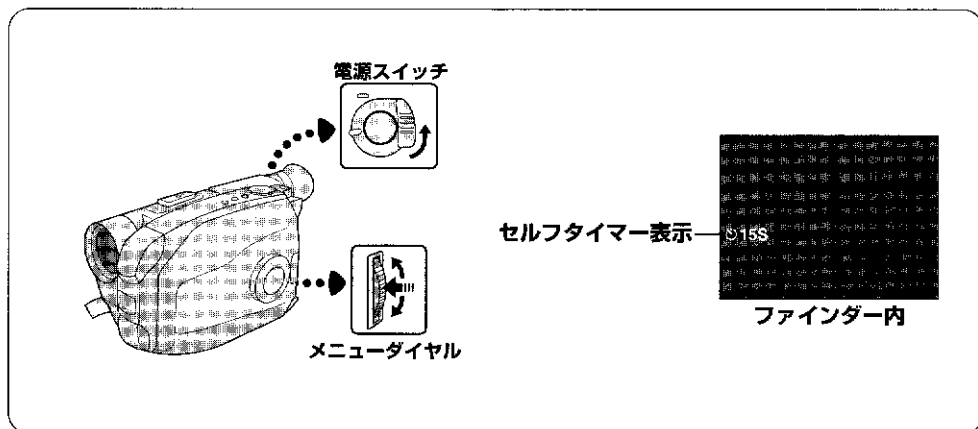
メニュー

機能名	こんなことができます
ピント	自動的にピントを調節します。 マニュアル 手動でピントを合わせるときに選択します。(P.48ページ)
アカルサ	自動的に明るさを調節します。 マニュアル 手動で明るさを調節するときを選択します。(P.49ページ)。
日付合わせ	日付、時間を設定するとき。(P.66ページ)
テレマクロ	切 通常はこの位置で。 入 近くにある被写体を、画面いっぱいにはズームアップして撮影することができます。(目安：約60cmの距離まで近づいて撮影できます。)ただし、ズーム中はピントが合わないこともあります。テレマクロが「切」になっていると、ズームの最望遠点で1m以上離れないとピントは合いません。
テープ	T20/T30/T40 テープの長さを選びます。(P.26ページ)
白バランス	オート 自動で白バランスを合わせます。通常はこの位置で。 MWB 記憶した白バランスで撮影するとき。(P.51ページ) ☀ 晴れた日に屋外で撮影するとき ☁ 曇りの日や日陰で撮影するとき 💡 ライトなどの照明を使って撮影するとき
ズームスピード	ノーマル/スロー ズームスピードを遅くすることができます。(P.35ページ)
アニメ	アニメ撮影 (P.56ページ)、タイムラプス撮影 (P.58ページ) をおこなうときに設定します。
セルフタイマー	セルフタイマー撮影 (P.54ページ)、タイムラプス撮影 (P.58ページ) をおこなうときに設定します。
タリーランプ	入/切 タリーランプ (撮影中ランプ) を切にできます。
文字入力モード	自分だけのタイトルを作るとき。(P.46ページ)
JLIP ID NO.	別売のJLIP対応機種を使ってパソコンとムービーをつなぎ、動かすためのものです。01～99まで設定できます。出荷時の設定は07です。お使いになれるJLIP対応機種については、販売店にお問い合わせいただくか、インターネット上のwwwサーバに記載されている最新情報をご覧ください。 <www>http://www.jvc-victor.co.jp/
デモモード	切/入 フェーダーやインスタントタイトルなどをデモンストレーションで確認できます。デモモードを「入」するにはテープを取り出すか、テープの消去防止用ツメをOFFにしてから選択します。 「入」を選びメニュー画面を閉じると、デモンストレーションが始まります。デモンストレーション中は、ズーム、テープの出し入れ、電源の入/切以外の操作は出来ません。デモンストレーションをやめるには、消去防止用のツメが「ON」になったテープを入れるか、電源を切/入します。

シーンダイヤルが「簡単オート」のときは、この内容に設定されます。

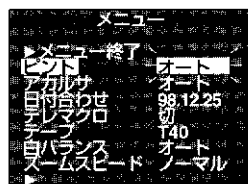
セルフタイマー撮影をする

スタート/ストップボタンを押してから録画が始まるまでの時間を設定することができます。ムービーを固定して、撮影していた人も画面に入れます。



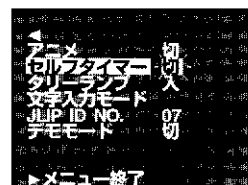
1 メニュー画面を表示させる

- 電源スイッチを‘撮影’にします。
- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



2 セルフタイマーを選ぶ

- メニューダイヤルを回して‘セルフタイマー’を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(セルフタイマーの設定メニューが開きます。)



3 撮影開始までの時間を選ぶ

メニューダイヤルを回して、‘15S’（15秒後）、‘30S’（30秒後）、‘1MIN’（1分後）、‘5MIN’（5分後）、‘切’の中から好みのお時間を選びます。



- 4** **メニュー画面を閉じる**
メニューダイヤルを2回押してください。
通常画面に戻ります。



- 5** **セルフタイマー撮影をする**
スタート/ストップボタンを押します。タリーランプが点滅をはじめ、撮影開始5秒前に早い点滅となり、撮影開始と同時に点灯に変わります。

- 6** **撮影をやめる**
- もう一度スタート/ストップボタンを押せば、撮影一時停止になります。
 - セルフタイマー撮影をくり返したいときは**2**～**6**の操作をおこなってください。

撮影
モード
設定

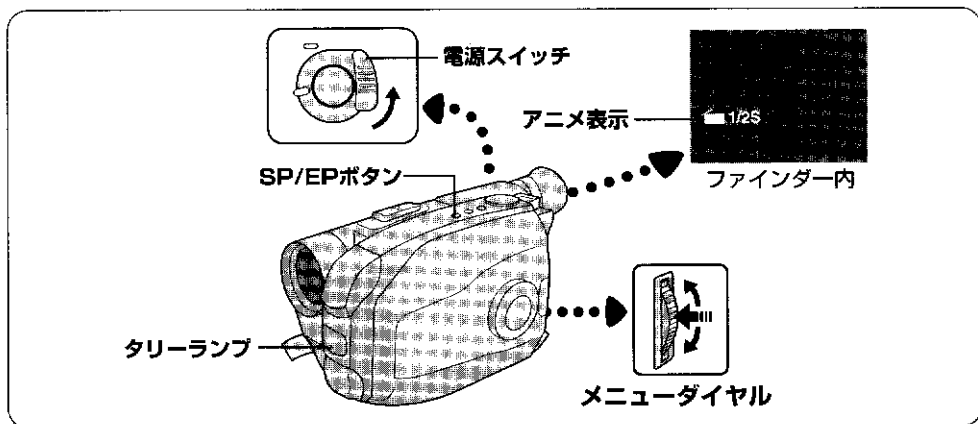
撮影
(応用)



タリーランプの点滅中にセルフタイマーを解除したい場合は、スタート/ストップボタンを押して点滅を止め、セルフタイマーの設定を「切」にしてください。

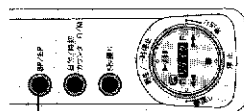
アニメ撮影をする

人形などを少しずつ動かして、短い時間で繰り返し撮影し、再生すると、ひとりでに動いているような映像を楽しめます。



1 録画モードをSPにする

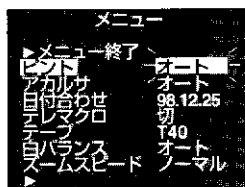
- 電源スイッチを'撮影'にし、SP/EPボタンを押して、録画モードをSPにしてください。（P.26ページ）



1秒以上押して
切り替えます。

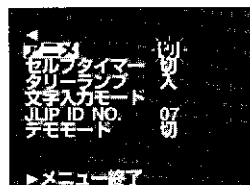
2 メニュー画面を表示させる

- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



3 'アニメ' を選ぶ

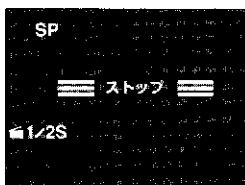
- メニューダイヤルを回して 'アニメ' を選びます。
- メニューダイヤルを押します。（アニメ設定メニューが開きます。）



- 4 撮影時間の長さを設定する**
メニューダイヤルを回して、**1/4S'** (1/4秒ずつ)、**1/2S'** (1/2秒ずつ)、**1S'** (1秒ずつ)、**5S'** (5秒ずつ)、**切** の中からお好みの時間を選びます。



- 5 メニュー画面を閉じる**
メニューダイヤルを2回押してください。
通常画面に戻ります。



- 6 アニメ撮影をする**
被写体をムービーの前に置き、スタート/ストップボタンを押します。
設定した時間、撮影した後、自動的に一時停止の状態になります。撮影を繰り返して映像をつくっていきます。

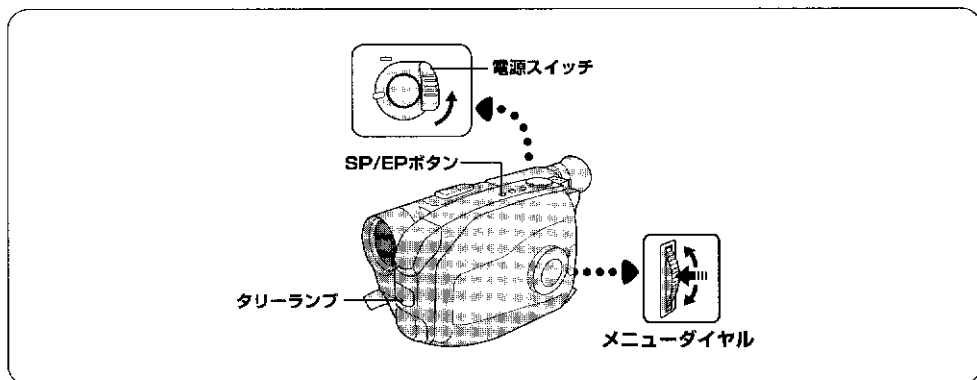
- 7 通常の撮影に戻したいときは**
設定したときと同様に、メニュー画面で**アニメ** の設定を**切** にします。



- アニメ撮影のときには、フェーダー（P.42ページ）は使えません。
- 誤動作を防ぐためアニメ撮影が終わったら、必ず設定を**切** にしてください。

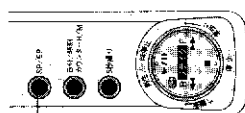
タイムラプス撮影をする

セルフタイマー（54ページ）とアニメ撮影（56ページ）を合わせて使います。一定間隔で自動的に、短い時間の録画スタート/ストップを繰り返します。交差点で人の流れを撮ったりすると、映画のように凝った映像を楽しめます。



1 録画モードをSPにする

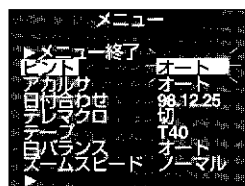
- 電源スイッチを'撮影'にしSP/EPボタンを押して、録画モードをSPにしてください。
(26ページ)



1秒以上押して
切り替えます。

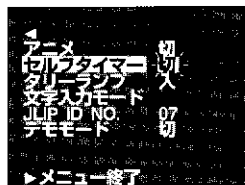
2 メニュー画面を表示させる

- シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
- メニューダイヤルを押します。



3 セルフタイマーを選ぶ

- メニューダイヤルを回して'セルフタイマー'を選びます。
- メニューダイヤルを押します。
(セルフタイマーの設定メニューが開きます。)



4 撮影の間隔を設定する

- メニューダイヤルを回して、'15S' (15秒後)、'30S' (30秒後)、'1MIN' (1分後)、'5MIN' (5分後)、'切' の中からお好みの時間を選びます。
- メニューダイヤルを押します。メニュー画面に戻ります。



5 撮影時間の長さを設定する

- メニューダイヤルを回して 'アニメ' を選びます。
- メニューダイヤルを回して、'1/4S' (1/4秒ずつ)、'1/2S' (1/2秒ずつ)、'1S' (1秒ずつ)、'5S' (5秒ずつ)、'切' の中からお好みの時間を選びます。



6 メニュー画面を閉じる

メニューダイヤルを2回押してください。通常画面に戻ります。



7 タイムラプス撮影をする

スタート/ストップボタンを押すと、設定した間隔で自動的に、録画スタート/ストップを繰り返します。

8 通常の撮影に戻りたいときは

スタート/ストップボタンを押して撮影をやめ、設定したときと同様に、メニュー画面で 'セルフタイマー' と 'アニメ' の設定を '切' にします。



- タイムラプス撮影のときには、フェーダー (※42ページ) は使えません。
- 誤動作を防ぐために、タイムラプス撮影が終わったら、必ず設定を '切' にしてください。

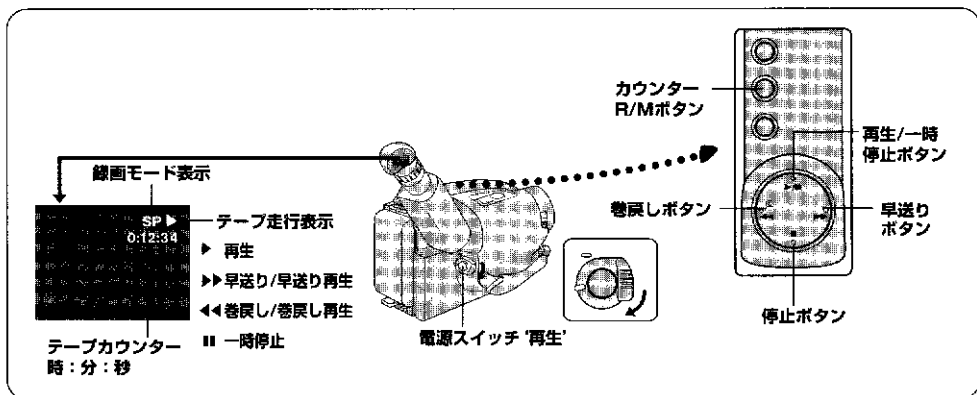
再生する

再生する

撮影した映像を、ファインダー内で見ることができます。

再生をする前に、以下の準備をしてください。

- ・電源を準備する (P.22ページ)
- ・撮影したテープを入れる (P.27ページ)



1 電源を入れる

- バッテリーなどの電源を取り付け、電源スイッチを「再生」にします。

2 テープを巻き戻す

- 巻戻しボタンを押します。

3 再生をする

- 再生ボタンを押します。

4 再生をやめる

- 停止ボタンを押します。

- 5分以上停止の状態を続けると、節電のため自動的に電源が切れます。再生を続けたいときは、電源スイッチ「切」にしてから「再生」にしてください。



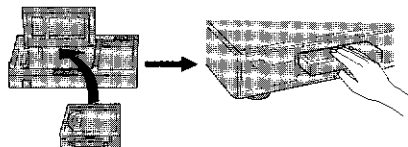
テープの早送り/巻戻し

停止ボタンを押してから、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押します。テープの初めや終わりまで早送りや巻戻しをすると自動的に停止します。

VHS-Cテープをビデオデッキで見

るには

カセットアダプターC-P6(別売)を使えば、そのままビデオデッキで見ることができます。



●テレビ画面で見たいときは

62～63ページをご覧ください、テレビに接続します。

トラッキングの調節

画面に出るノイズを調節して画面をよくします。

ムービーが自動的に調節（オートトラッキング）しますが、合いにくい場合は手で調節します。再生中メニューボタンを押します。メニューダイヤルを回し、画面がよくなるように調節します。

- 自動に戻すにはメニューダイヤルを押します。‘AT’表示が出て自動でトラッキングを調節します。‘AT’表示が消えたら調節終了です。
- 他のビデオで録画されたテープは、十分に調節できないことがあります。

静止画再生

再生画を一時止めて見るができます。

再生中、一時停止ボタンを押します。再生に戻したいときは、もう一度一時停止ボタンを押して下さい。

- 静止画再生を約5分以上続けると、テープ保護のため自動的に電源が切れます。再生を続けたいときは、電源スイッチを‘切’にしてから‘再生’にしてください。
- 静止画再生中は画面にノイズが出たり、白黒になったり、暗くなったりしますが故障ではありません。特にSP（高画質）モードの場合はノイズが多くなります。
- 音声はできません。

高速再生

早送りや巻戻しをしながら高速で再生することができます。

- 再生中、早送りボタンまたは巻戻しボタンをポンと一度押すと、高速再生します。見たいシーンで再生ボタンを押せば通常再生になります。
- 指を離さずに、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けると、高速で再生します。見たい場面で指を離せば、通常再生になります。

- 高速再生中は画面にノイズが出たり、白黒になったり暗くなったりしますが故障ではありません。特にSP（高画質）モードの場合はノイズが多くなります。
- 音声はできません。

カウンターメモリー

見たい場面で自動的にテープを止めることができます。

再生中、見たい場面でカウンターR/Mボタンを約2秒以上押し、カウンターが 0:00:00 になったら続けてもう一度カウンターR/Mボタンを軽くポンと押します。

- カウンターが 00:00:00 になり、カウンターメモリーが設定されます。

テープが停止した状態で早送りボタンや巻戻しボタンを押すと、0:00:00付近で自動的に停止し、再生ボタンを押せば、見たい場面を見ることができます。カウンターメモリーを取り消したいときは、カウンターR/Mボタンを軽くポンと押して‘M’を消してください。

- カウンターメモリーを使ってテープを止めた後、すぐに早送りや巻戻しをすると、また 0:00:00付近で止まってしまうことがあります。そんなときはカウンターメモリーを取り消してください。



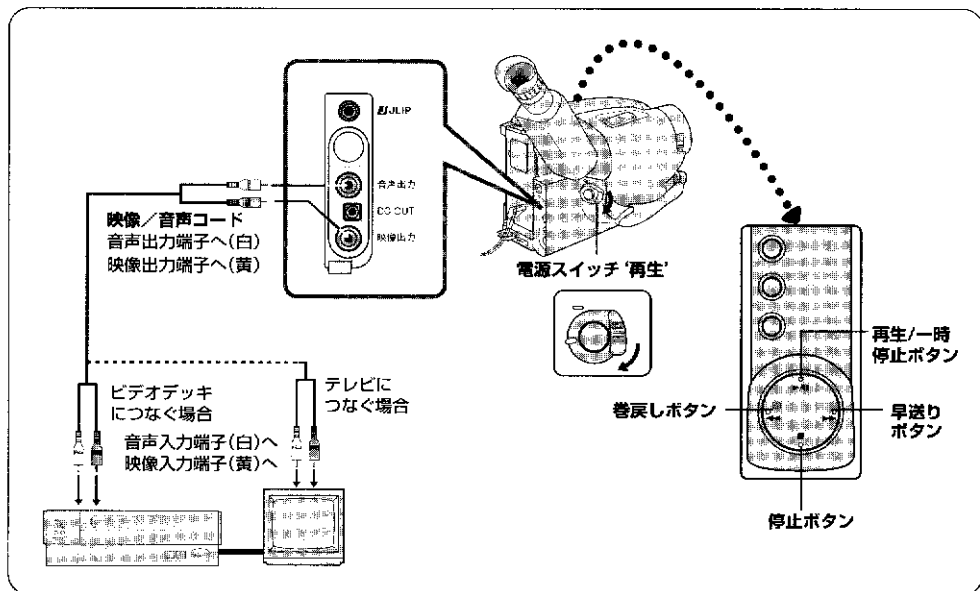
テープカウンターを0:00:00に戻すにはカウンターR/Mボタンを約2秒以上押ししてください。

- カウンター値は無記録部分では変わりません。
- テープを取り出すと、0:00:00に戻ります。
- 0:00:00を越えて巻戻すと一が表示されます。
- 再生途中でも、カウンターR/Mボタンを約2秒以上押せば、カウンターを 0:00:00 に戻すことができます。

テレビやビデオデッキとつなぐ

テレビやビデオデッキにつないで見る

再生や編集のための接続のしかたです。ご家庭のテレビやビデオデッキの取扱説明書もお読みください。電源は付属のACアダプターAA-V15を使うことをおすすめします。



テレビにつないで見る

- 1 ムービーとテレビをつなぐ**
付属の映像/音声コードで、図のようにムービーとテレビをつなぎます。
- 2 電源を入れる**
ムービーの電源スイッチを「再生」にし、テレビの電源を入れます。
- 3 テレビの入力を替える**
ムービーからの映像と音声を受けるために、テレビの入力をムービーをつないでいる端子にします。
テレビによって違いますので、お使いになるテレビの取扱説明書を見ながらおこなってください。(例 ビデオ2、ビデオ3、ムービーなど) ムービーからの映像と音声は、テレビに出ます。
- 4 再生する**
ムービーの再生ボタンを押すと、ムービーからの映像と音声がテレビに出ます。再生をやめたいときは停止ボタンを押してください。



テレビに映像/音声入力端子がない場合はRFユニットRF-V5（別売）をお使いください。くわしくはRF-V5の取扱説明書をご覧ください。

ビデオデッキにつないで見る

① ムービーとビデオデッキをつなぐ

付属の映像/音声コードで、図のようにムービーとビデオデッキをつなぎます。

② 電源を入れる

ムービーの電源スイッチを「再生」にし、ビデオデッキ、テレビの電源を入れ、テレビのチャンネルをいつもビデオを見ている位置にします。

③ ビデオデッキを外部入力にする

ビデオデッキによって違いますので、お使いになるビデオデッキの取扱説明書を見ながらおこなってください。(代表的な例を下にあげてあります。)

④ 再生する

ムービーの再生ボタンを押すと、ムービーからの映像と音声が出ます。再生をやめたいときは停止ボタンを押してください。

ダビングをする

ビデオデッキとつないで、撮影したテープを見ながら簡単にもう一本同じテープを作れます。

① ムービーとビデオデッキをつなぐ

「ビデオデッキにつないで見る」の①～④の操作をしてください。

② テープを入れる

撮影済みのテープをムービーに、録画するテープをビデオデッキに入れてください。

③ ダビングをする

ビデオデッキを録画一時停止の状態にし、ムービーの再生ボタンを押すと、ムービーからの映像と音声が出ます。ダビングしたいところでビデオデッキの録画をスタートしてください。

- ダビング中、カットしたいところはビデオデッキを録画一時停止にしてください。
- ダビングを終えるには停止ボタンを押してください。



ビデオデッキを外部入力にするには

ビデオデッキによって違います。お使いになるビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

例1 スライドスイッチで切り替えるタイプ



外部 チューナー

スイッチを切り替える

例2 入力切り替えボタンのタイプ



ボタンを押して外部入力表示を選ぶ(ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど)

外部入力にするとムービーからの映像と音声が出、テレビから出ます。

例3 チャンネルボタンで切り替えるタイプ

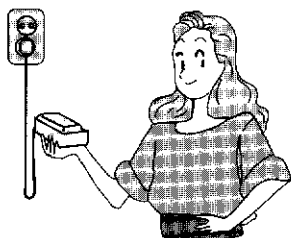


(または-/+)

外部入力表示が出るまで押す(L1、LINE AU、AUX、0など)



海外でお使いになるには



このムービーは海外でもお使いになれます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。ACパワーアダプターを使ってバッテリーの充電をするために、訪問国のコンセントに合った変換プラグを空港内売店などでお買い求めください。くわしくは旅行代理店にご相談ください。



コンセントの形状 使用する変換プラグ					
	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など				

現地のテレビで見るには

撮影したテープをテレビで見るには、NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープは

このムービーで再生できるのは、日本と同じNTSC方式で撮影したテープです。

海外で万一故障した場合は

お持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。(海外でのアフターサービスについてはご容赦ください。)



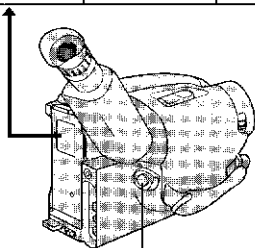
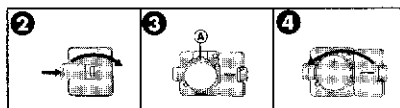
日本と同じNTSC方式の国です

- アメリカ合衆国
- ニカラグア
- ハイチ
- エクアドル
- パプーニューギニア
- パナマ
- エルサルバドル
- プエルトリコ
- バハマ
- カナダ
- ベネズエラ
- バレーバドス
- キューバ
- ペルー
- ミャンマー
- グアム
- 米領サモア
- ベトナム
- 韓国
- ボリビア
- フィリピン
- チリ
- グアテマラ
- ホンジュラス
- ドミニカ
- コスタリカ
- ミクロネシア
- トリニダード・トバゴ
- コロンビア
- メキシコ
- スリナム
- 台湾

ボタン電池（時計用）を入れかえる

時計用電池の交換

日時や文字入力のを憶を保つために必要です。お買い上げ時はすでに取り付けられています。電池の容量がなくなると、ムービーの電源を入れたとき、ファインダー内に時計表示  が10秒間点滅します。ボタン電池を交換してください。



① 電源スイッチ



ご注意ください

電池は幼児の手の届かないところにおいてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

1 電源を切る

電源スイッチを「切」にし、バッテリーなどの電源をムービーからはずしてください。

2 電池取り付け部のフタを開ける

矢印方向へ押しながら開けます。



3 ボタン電池を入れかえる

古いボタン電池を取りはずし、新しいボタン電池を＋側が見えるように入れます。取りづらい時は、先の細い金属以外のものを  の部分に差し込んで取り出してください。

4 電池取り付け部のフタを閉める

矢印方向へ閉めます。交換後は日時を合わせ直してください。

電池を交換する時期は

- お買い上げ時に取り付けられているのはサービス電池ですので、長くもたないことがあります。
- 電池の容量が無くなると、ムービーの電源を入れたとき、ファインダー内に時計表示  が点滅します。

電池を交換するときは

- ボタン電池（CR2025）を最寄りの電気店またはカメラ店などでお求めください。
- 「安全上のご注意」（P.6～15ページ）のボタン電池についての注意文もよくお読みください。

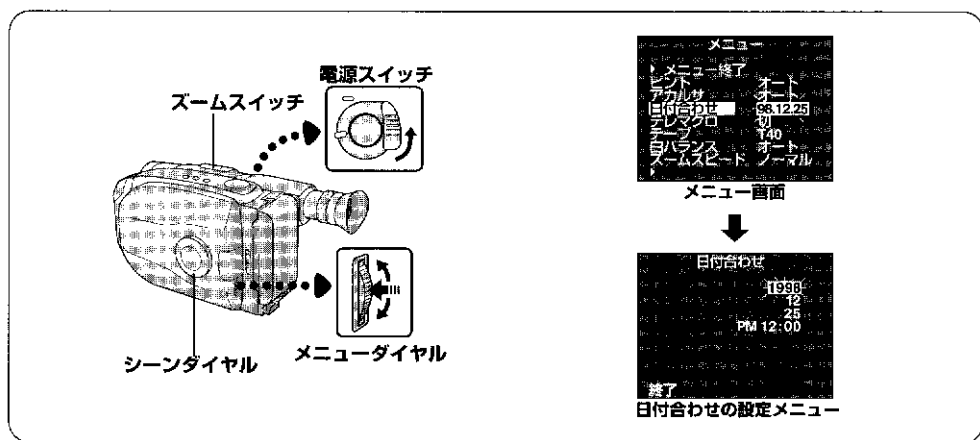
その他

その他

日時を合わせる

時計合わせ

お買い上げ時は、すでに日時を合わせてあります。ボタン電池（時計用）を入れかえたときなど（ 65ページ）は合わせ直してください。



- 1** メニュー画面を表示させる
- 電源スイッチを「撮影」にします。
 - シーンダイヤルをスタンダードに合わせます。
 - メニューダイヤルを押します。

- 2** 日付合わせを選ぶ
- メニューダイヤルを回して「日付合わせ」を選びます。
 - メニューダイヤルを押します。（日付合わせの設定メニューが開きます。）



日付合わせの設定メニュー

- 3** 修正する年月日または時間を選ぶ
- メニューダイヤルを回して修正する項目（年または月、日、時間）にカーソル（白い帯）を合わせます。
 - メニューダイヤルを押します。（選択した項目が点滅します。）

- 4** 年月日または時間を修正する
- メニューダイヤルを回して正しい数字に合わせます。
 - メニューダイヤルを押します。

時間修正の場合は最初に時を修正して、メニューダイヤルを押し、次に分を修正します。

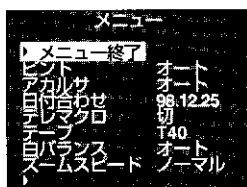
間違えたときは手順 **3** からやり直してください。

5 日付修正を終了させる

- メニューダイヤルを回して'終了'に合わせます。
- メニューダイヤルを押します。
(メインメニューに戻ります。)

6 メニューを閉じる

- メニューダイヤルを押します。
(カーソルが'メニュー終了'に来ている
時に押します。)



●日時を入れて撮る

撮影をするときの画面上の日時は、表示のしかたを、オートデート、日付、時間、日時の中から選ぶことができます。
(P.38ページ)

その他

その他

故障かな？と思ったら

このムービーはマイコンを使用しています。

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはムービーから電源（バッテリー、ACパワーアダプターなど）およびボタン電池を一度はずしてしばらく置き、改めてご使用ください。

それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

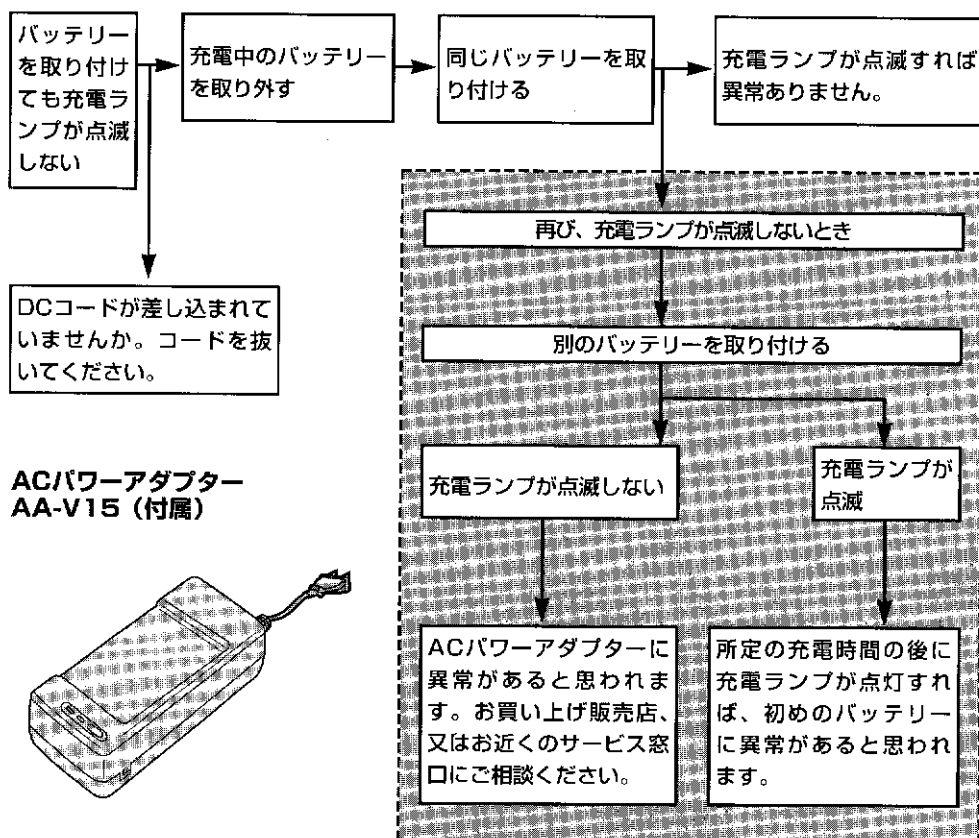
症状	処置	ページ
電源		
電源が入らない	●バッテリーが充電されているか、確かめてください。 ●電源が正しく接続されているか、確かめてください。	22 22~24
電源が突然切れて入らない	●バッテリーの容量がなくなっていないか確かめてください。 ●テープを取り出し、バッテリーなどの電源およびボタン電池をはずして数分待ち、電源を入れてください。それでも電源が入らない場合はお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。	22
撮影		
撮影ができない	●ツメなしテープで撮影していないか、確かめてください。 ●電源スイッチが「再生」になっていないか、確かめてください。 ●電源スイッチを「撮影」側に合わせてからスタート/ストップボタンを押してください。	27 32 32
自動でピントが合わない	●ピントが手動になっていないか確かめてください。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影すると合わないことがあります。手動で合わせてください。 ●ファインダーのピントを合わせてあるか確かめてください。 ●レンズが汚れていると、ピントが合わないように見えます。やわらかい布などでよくふき取ってください。	48 48 25 -
日時やタイトルがファインダーに出ない	●日時表示の設定が、「表示なし」になっていないか確認してください。 ●ボタン電池が入っているか、また容量が残っているか確認し、日時を合わせ直してください。	38 65~67
再生		
画像が出ない	●電源をもう一度入れ直してください。 ●映像／音声入力端子つきテレビの場合は、テレビのチャンネルを「ビデオ」にしてください。（テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル 1 か 2 以外になっていませんか。）	60 62~63
画面にノイズが出る	●トラッキング調節をしてください。 ●ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。クリーニングカセットTCG-2（別売）で清掃してください。	61 17

症状	処置	ページ
再生		
早送り、巻戻し中に途中でテープが止まる	●カウンターメモリーされていませんか。	61
再生、早送り、巻戻しができない	●電源スイッチが「再生」側になっているか確かめてください。 ●テープが早送り、巻戻しを完了していないか、確かめてください。	60 60
その他		
テープが取り出せない	●バッテリーが充電されているか、確かめてください。	22
いろいろな機能が使えない	●シーンダイヤルを「簡単オート」以外に合わせてください。	34
被写体に強い光が入ると縦に白い線が出る	●大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	-
画面上にひし型や三角形の光が写る	●太陽が正面や斜め上前方にあると写ります。太陽光がレンズに入らないよう、ムービーの向きやズームを少し動かしたり、レンズの上に手をかざしたりしてみてください。	-
レンズが、指紋などで汚れてしまった	●やわらかい布で、あまり力を加えずに汚れをふき取ってください。 また、かたい布などでこすらないでください。キズがついたり割れたりすることがあります。	-
記憶したタイトルや日付が消えてしまった	●電源を切らずにバッテリーなどの電源を取りはずすと、記憶したタイトルや日付が消えてしまいます。取りはずすときは、必ず電源を切ってください。	-
ファインダー内に見えないマークが出た	●「ファインダー内の表示」をご覧ください。	30
ファインダー内にE03などの表示が出た	●拡大故障を防ぐため操作ができなくなります。テープを取り出しバッテリーをはずして数分待ち、表示が消えてからお使いください。表示が消えない場合は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。	-

故障かな？と思ったら（つづき）

ACパワーアダプターの点検

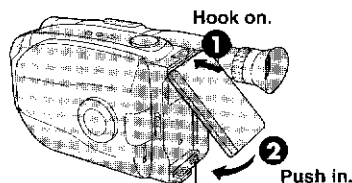
ACパワーアダプター AA-V15（付属）のランプが点滅したり、点灯しなくなったときは異常が考えられます。次の手順でご確認ください。



- 購入直後のバッテリーや、長期放置したものは、最初の充電のときに充電ランプが点滅しないことがあります。バッテリーを取りはずし、もう一度充電してください。充電後、充電ランプが点滅から点灯に変わったら、そのバッテリーは正常です。

ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE

SUPPLY POWER



“バッテリー取りはずし”
(BATTERY RELEASE)

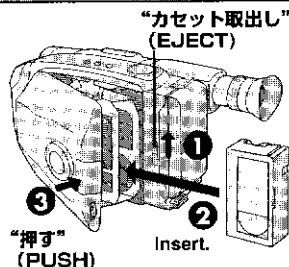
A. Using the battery pack

- 1 Hook-on the battery pack's top end to the camcorder.
- 2 Push in the battery pack until it locks into place.

To remove the battery pack

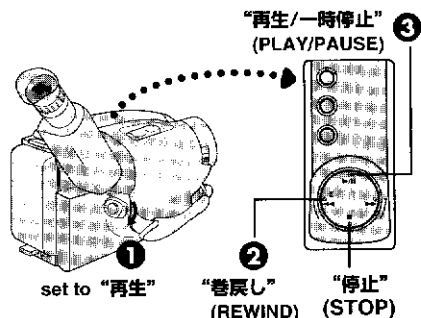
Slide “バッテリー取りはずし” (BATTERY RELEASE) and pull out the battery pack.

INSERTING A VIDEO CASSETTE



- 1 Slide “カセット取出し” (EJECT).
- 2 Insert a video cassette.
- 3 Press “押す” (PUSH) and make sure that the cassette cover is closed and locked.

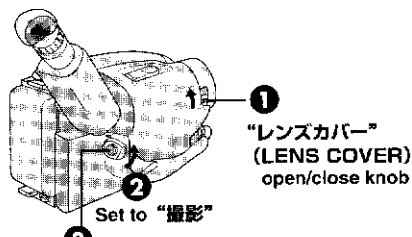
PLAYBACK



- 1 Set the power switch to “再生” (PLAYBACK).
- 2 Press “巻戻し” (REWIND).
The tape will automatically stop at the beginning of the tape.
- 3 Press “再生/一時停止” (PLAY/PAUSE).
Playback starts, and playback picture appears in the viewfinder.
■ To stop playback, press “停止” (STOP).

Or simply play back the tape on a VHS VCR using the Cassette Adapter C-P6 (optional).

SHOOTING



- 1 Slide the “レンズカバー” (LENS COVER) open/close knob to open the lens cover.
- 2 Set the power switch to “撮影” (CAMERA).
The power indicator will light and image will be seen in the viewfinder.
- 3 Press the Recording Start/Stop button.
Recording Starts.
■ To stop recording temporarily, momentarily press the Recording Start/Stop button once again.

主な仕様

ビデオムービー

電源	: DC6V
消費電力	: 5.1 W
信号方式	: NTSC日米標準信号
録画方式	: VHS 規格
使用テープ	: VHS (S-VHS) マーク付のもの
テープ速度 (SP)	: 33.35 mm/秒
(EP)	: 11.12 mm/秒
録画時間 (SP)	: 最大 40分 (TC-40使用時)
(EP)	: 最大 120分 (TC-40使用時)
早送り・巻戻し時間	: 約6分 (TC-40使用時)
レンズ	: f=3.8~83.6 mm F1.6 22倍ズーム フィルター径46φ
ファインダー	: 0.55型カラー液晶ファインダー
白バランス調整	: 自動/手動
アイリス	: 自動
映像出力	: 1 Vp-p (75 Ω不平衡)
音声出力	: -8 dBs (Low)
マイク	: モノラル
許容動作温度	: 0~40 °C
許容相対湿度	: 35~80 %
許容保存温度	: -20~50 °C
外形寸法	: 幅113×高さ117×奥行き222 mm
質量	: 撮影時質量 約1,030 g (バッテリーBN-V12、 カセットテープTC-40、 ショルダーストラップ、 本体約780 g)
付属品	: ●ACパワーアダプター AA-V15×1 ●DCコード×1 ●バッテリーBN-V12×1 ●映像/音声コード×1 ●ボタン電池 (CR2025) ×1 (ボタン電池は取り付け済みです。) ●ショルダーストラップ×1

バッテリーについて

充電/リフレッシュ時間

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V15	約1時間25分	約5時間
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V25	約2時間40分	約10時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V65	約2時間10分	約7時間

ACパワーアダプターAA-V15 (付属) 使用の場合

●リフレッシュ時間は、容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

連続撮影時間

バッテリー	撮影時間
BN-V12	約 75分
BN-V15	約 95分
BN-V22	約150分
BN-V25	約200分
BN-V50	約180分
BN-V65	約150分



●使用するバッテリーは6Vです。
BN-V12、V15、V22、V25、
V65 はニカド電池、BN-V50
はニッケル水素電池です。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオムービーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（74～75ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（持込修理）

68～70ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

万一本機およびコンパクトビデオテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品 名	ビデオムービー
型 名	GR-AX255
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	
お 名 前	
電 話 番 号	() -

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検 ●長年ご使用のビデオムービーの点検をぜひ！

熱、湿気、水濡しなどの影響や、使用の回数により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない。
- 電源プラグ、ケーブルが異常に熱い。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。
- その他の異常な故障がある。



ご使用を
中 止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧くださいのために

ビデオムービーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼にならない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●連絡について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	番	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-26
	苫小牧 S.S.	(044)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川 S.C.	(066)61-3659	079-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(057)25-8557	090-0037	北見市下町4-7-19
	釧路 S.C.	(054)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-4-13
	帯広 S.S.	(055)24-4493	080-0808	帯広市東六条南12-11
道	函館 S.S.	(038)48-5324	041-0805	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森 S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	038-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津田121番2号新田通24番地1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
	秋田 S.C.	(0188)24-3189	013-0653	秋田市山王公園4-1
秋田	大館 S.S.	(0186)43-0880	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0664	横手市赤坂字大窪向3-6
	山形 S.C.	(022)287-0151	094-0011	山形市若林区六丁の目西町7-13
高城	石巻 S.S.	(0225)94-7711	098-0853	石巻市門田字四番台8-18
	山形 S.C.	(0236)42-0279	090-2412	山形市松上3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)29-7145	098-0402	酒田市亀ヶ崎6-6-1
山形	郡山 S.C.	(0249)52-6331	093-3205	郡山市上1-1
	いわき S.S.	(0248)28-4891	097-0034	いわき市北上荒川字坂町19-4
	会津若松 S.S.	(0242)32-0247	095-0022	会津若松市津沢町1-5
福島	福島 S.S.	(0245)53-9437	093-0-03	福島市本内字南原26-1
関信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)241-0527	950-0084	新潟市明石1-2-19
	佐渡 S.S.	(0259)57-3127	952-1314	佐渡郡佐和田町河原田由本町93
	長岡 S.C.	(0258)24-1462	940-0012	長岡市下笠2-1366-1
	上越 S.S.	(0255)44-9987	942-0001	上越市下笠1-11
	松本 S.C.	(0263)25-9353	390-0837	松本市鎮田2-3-50
	長野 S.S.	(026)221-9946	380-0513	長野市川合新居962-1
長野	上田 S.S.	(0268)23-3589	386-0005	上田市吉里79-1
	松本 S.C.	(027)255-5820	371-0654	前橋市大盛町1-19-1
	長野 S.C.	(028)635-2656	320-0864	宇都宮市吉岡町17-9
【出張修理専門】のご相談窓口				
【お預かり修理・補修用部品】のご相談窓口				
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
	土浦 S.C.	(0298)21-6756	300-0051	土浦市葛城6-1-25
	山梨 S.C.	(0552)37-3136	400-0864	甲府市瀬田2-11-5
千葉				
【出張修理専門】のご相談窓口				
【お預かり修理・補修用部品】のご相談窓口				
千葉	千葉 S.C.	(043)245-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津 S.S.	(0438)38-4655	292-0802	木更津市真舟5-4-9
	浦安 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	松戸市豊島5-10-67
千葉	千葉 S.C.	(047)353-6189	279-0001	海安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	番	所在地
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	前橋 S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理・補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0038	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	01-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
大田	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	92-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
【業務用機器専門】のご相談窓口				
群馬				
群馬	群馬 S.C.	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	前橋 S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
埼玉	大宮 S.C.	(048)654-5247	330-0037	大宮市東入成町2-658-1
	熊谷 S.C.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城野2-739ツインハイツ石山3B
	川越 S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	前橋 S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理・補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0433	231-0028	横浜市中区新町1-3-1
	横浜 S.C.	(045)34-9267	239-0831	横浜市中区里山6-4-1
	川崎 S.C.	(044)975-8779	216-0024	川崎市宮前区南483-2(第2芝原ビル)
静岡	静岡 S.C.	(054)23-2687	264-0033	静岡市老成町4-9(木村ビル)
	小田原 S.C.	(0485)24-6887	250-0004	小田原市東町4-1-12
	相模原 S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市吉澤3-7-4
静岡				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-23
	沼津 S.S.	(0559)22-5557	410-0041	沼津市南井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3447	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3236	461-0041	西春日井郡西春日町九嶋ビル121-1
	豊橋 S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋 S.C.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.C.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市半生南3-1-28
	三河 S.C.	(0593)52-0841	510-0076	西海市市堀木2-15-2
	津市 S.C.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字路4-485-18
富山	富山 S.C.	(0762)25-2397	930-0083	富山市起田南4-3-5
	石川 S.C.	(0762)31-5242	920-0867	金沢市長土堀2-1-27
	福井 S.C.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西園第3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

撮影記録を書きとめるなど、ご自由にお使いください。

76

索引

あ

明るさ調節	49
明るさ調節表示	30
アニメ撮影	56
アニメ表示	30
演出／効果	40
オートデート	39
オートトラッキング	61

か

海外で使う	64
カウンター	61
カウンターメモリー	61
カセットアダプター	60
カセット取出しスイッチ	2
カーバッテリーチャージャー(別売)	24
カメラリハーサル	31
簡単オート	34
感度アップ	44
感度アップ (AGC) 表示	30
逆光のとき	49
クイックレビュー	36
グリップバンド	25
高速再生	61
高速シャッター	41
誤消去防止	27
コントロールボタン	29

さ

再生する	60
撮影一時停止	32
撮影一時停止表示	30
撮影の確認 (クイックレビュー)	36
視度調節リング	25
シネマ効果	43
充電	22
上手な充電	18
ショルダーストラップ	29
白バランス	50

白バランス表示	30
シーンダイヤル	40
シーンダイヤル表示	30
スタンダード	34
スポーツ	41
ズームスイッチ	34
ズームスピードの設定	35
ズーム表示	30
静止画再生	61
接続	62
セピア	41
セルフタイマー	54
セルフタイマー表示	30

た

タイトル	45
タイトル表示	30
タイムラプス撮影	58
ダビング	63
タリーランプ	32
つゆつき	16
テープオワリ表示	30
テープ残量表示	32
テープについて	27
テープの長さ表示	30
テープを入れる	27
テープの長さを選ぶ	26
テレビで見る	62
テレマクロ	53
電源 (コンセントで)	24
(車で)	24
(バッテリー)	22
時計表示	30
トラッキング	61
撮る姿勢	31

な

日時合わせ	66
日時表示	30
ノイズが出たら	61

は

ハーフトーン	41
バッテリー	22
バッテリーアラーム	30
パッド	25
パンニング	31
日付／時計合わせ	66
ピントが合わない	48
ピント表示	30
ピントを合わせる	48
ファインダー内の表示	30
ファインダーのピント合わせ	25
ファンタジー	41
フェーダー	42
フェーダー表示	30
フェードイン／フェードアウト	42
ヘッドの汚れ	17
ボタン電池	65
ホワイトバランス (白バランス)	50

ま

マクロ撮影	35
メニューを使う	52
文字入力モード (自分だけのタイトルを作る)	46

や

ヤケイ (夜景)	41
----------	----

ら

リテイク	36
リフレッシュ	23
レンズカバー	32
録画表示	30
録画モード	26
録画モード表示	30

英数字

5秒撮り	37
ACアダプター	22
AGC	44
DCコード	2
MWB	50
NTSC方式	64
RFユニット (別売)	62
SP/EPモード	26



省エネで
守る環境
豊かな暮らし

故障かな？と思ったら

修理に出す前に68～70ページをご確認ください。

修理相談

「お買い上げ販売店」へご相談ください。

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼
にならない場合は、73ページの「保証とアフターサービス」
をお読みの上、74～75ページの「ビクターサービス窓口」
にご相談ください。

お買物相談

お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様
ご相談センター」にご相談ください。

東京お客様ご相談センター

☎ (03) 5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪お客様ご相談センター

☎ (06) 765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ

インターネット上にビクターのホームページを設けました。

ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/>



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話 (045) 450-2550